

(電子入札用)

工 事 設 計 書

工 事 名 令和8年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う配水管支障移設工事

<工事設計書一覧>

設計図書	○	特記仕様書
	○	質問書
	○	図面
参考資料	○	金抜き設計書
	○	積算参考資料

※○印は公表図書

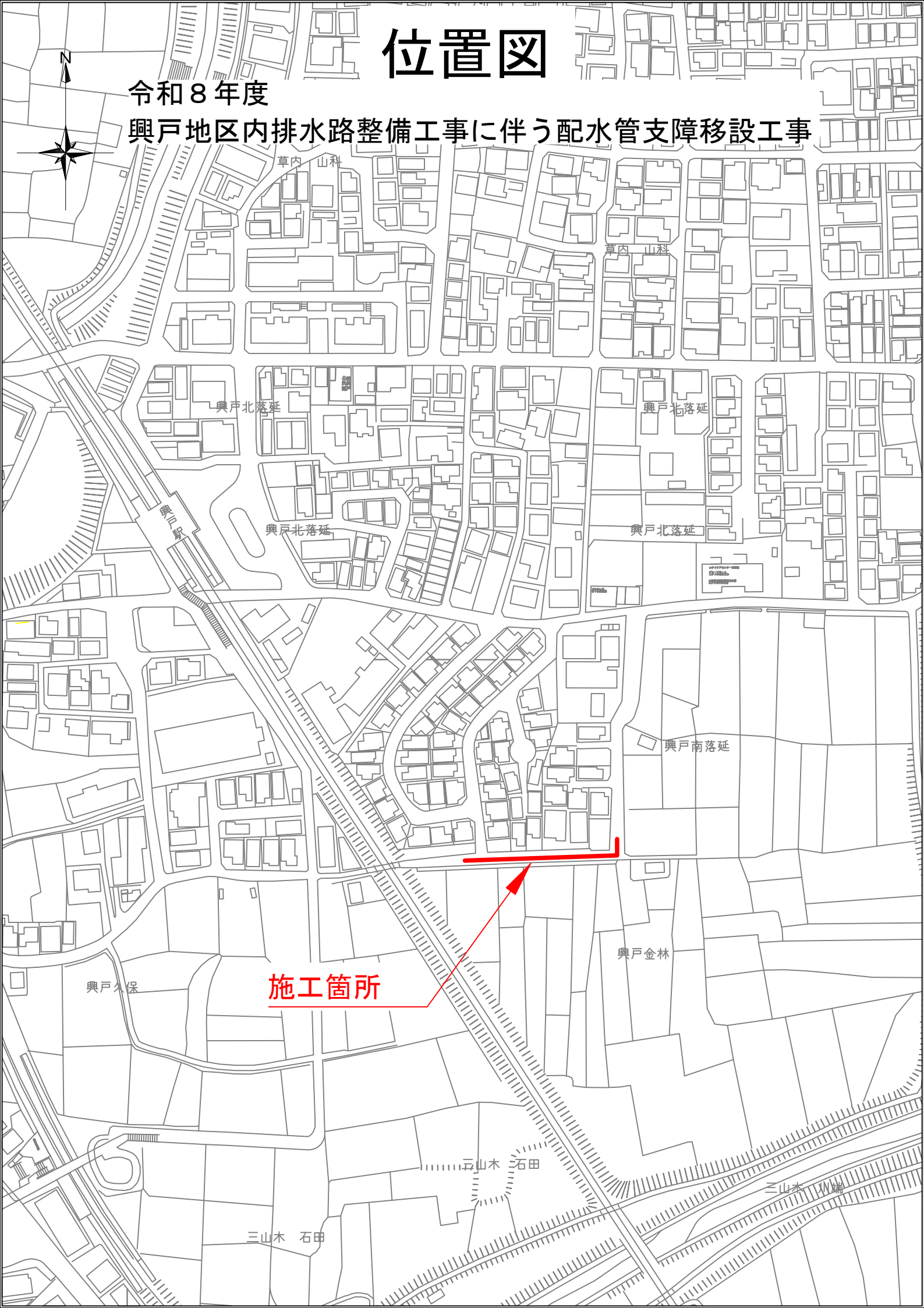
<入札時の工事費内訳書記載項目の範囲>

金抜き設計書の工事費内訳表
材料費、労務費、法定福利費、
安全衛生経費及び建退共掛金

位置図

令和8年度

興戸地区内排水路整備工事に伴う配水管支障移設工事



施工箇所

特 記 仕 様 書

【令和8年4月7日改正】

工 事 名 : 令和8年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う配水管支障移設工事
 工 事 場 所 : 京田辺市 興戸 地内
 工 期 : 契約日の翌日から令和8年9月30日

1 総則		
1-1	総則	1 本工事は、水道管布設工事一般仕様書(平成19年3月、京田辺市上下水道部)、「水道工事標準仕様書(土木工事編)」(平成22年、日本水道協会)、「土木工事共通仕様書(案)」(令和6年4月、京都府)(以下「共通仕様書」という。)、土木請負工事必携(令和8年4月、京都府)及び土木工事施工管理基準(平成29年9月、京都府)により施工すること。 2 本工事は、工事請負契約における設計変更ガイドライン(案)(京都府)(平成29年9月)を準用するものとする。
1-2	施工方法等	仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、契約書及び設計図書に特別の定めのある場合並びに、本工事の数量変更による場合を除き変更の対象としない。
1-3	設計図書の照査	本工事の施工にあたっては、事前に設計図書の照査を行うものとし、監督職員に確認できる資料を書面により提出するものとする。
1-4	施工体制台帳の提出	受注者は、法令に従い、施工体制台帳(下請負契約書添付)及び施工体系図を作成し、監督職員に提出しなければならない。 なお、工事請負代金額が150万円以上の場合は、施工体制台帳に京田辺市暴力団排除条例第12条で定める誓約書の写しを添付すること。
1-5	建設業退職金共済制度の普及	1 工事請負契約書を締結したときは、当該工事で雇用する建設労働者にかかる必要な勤労者退職金共済機構の証紙を購入することとし、その発注者用掛金収納書を提出すること。 2 なお、受注者は、工事完成時に建退共運営実績報告書を提出すること。
1-7	技術者の配置	本工事に係る技術者(現場代理人、主任技術者又は監理技術者等)の配置については、「建設工事と技術者の配置について」(京田辺市ホームページ掲載)によるものとする。
1-8	工事加計 作成・登録	受注者は、工事請負代金が500万円以上の工事については、工事实績情報サービス(コリス)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事成績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督職員の確認を受けた上、受注時は契約後、土曜日・日曜日・祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日・日曜日・祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなくてはならない。また、登録完了後は「登録内容確認書」の1部を監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略出来るものとする。
1-9	週休2日制工事	本工事は、受発注者双方が工程調整を綿密に行い、完全週休2日に取り組む工事である。 週休2日制工事の実施は、「京田辺市上下水道部週休2日制工事実施要領(令和8年4月改定)」に基づき実施すること。 (HP: https://www.city.kyotanabe.lg.jp/0000022216.html)
1-10	建設現場一斉閉所	受注者は、近畿地方整備局管内で実施する、毎月第2・第4土曜日の建設現場一斉閉所に取り組むものとする。 また、毎月第2・第4土曜日の現場閉所状況について、履行報告書により報告すること。 なお、現場の閉所が行えない場合においても、成績評定で減点は行わない。
1-13	ウィークリースタンス	本工事は、ウィークリースタンスの対象である。実施にあたっては、「京田辺市ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し取り組むものとする。

1-14	熱中症対策	1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。 2 受注者は現場管理費の補正を希望する場合は、監督職員に試行の実施希望を伝え、施工計画書に本試行工事の工事期間における真夏日の計測箇所を明示すること。 3 本試行は「京田辺市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき実施すること。 4 本試行を適用した場合は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算したうえで、設計変更を行う。																
2 材料及び施工																		
2-1	管材料	配水管及び給水管工事で使用する材料は、水道工事使用材料承認メーカー表（令和8年4月、京田辺市上下水道部）にある材料メーカーを使用すること。																
2-2	ポリエチレンスリーブの取付け	ポリエチレンスリーブによる管被覆の目的は、埋設土壌と管との直接の接触を断つことにより管の防食を行うものである。 本工事でダクタイル鋳鉄管、ダクタイル鋳鉄製継手類、仕切弁等のダクタイル鋳鉄製品及びサドル分水栓を使用する時は、ポリエチレンスリーブを使用すること。なお、ポリエチレンスリーブの施工方法については、ポリエチレンスリーブ取付方法（平成14年1月、京田辺市上下水道部）及びダクタイル管用ポリエチレンスリーブ施工要領書（日本ダクタイル鉄管協会）により施工すること。 ポリエチレンスリーブは粉体塗装管の明記入りを使用すること。																
2-4	再生材の利用について	本工事については、下表のとおり再生資材を使用するものとする。ただし、再生材工場の都合により下記の再生資材の使用が困難な場合については、監督職員と協議のうえ新材とすることができる。なお、再生資材を使用する場合は、下記により品質が適正なものであるか確認のうえ使用するものとする。 1 下表再生資材を路盤材又は舗装材として使用する場合は品質等は「舗装再生便覧」によるものとする。 2 再生クラッシャーランを基礎材として使用する場合は品質等は、「舗装再生便覧」及び「コンクリート副産物の再利用に関する用途別品質基準」によるものとし、構造物の立地条件等を考慮して適正な品質のものを使用するものとする。 3 再生骨材は、木屑・紙・プラスチック・れんが等混入物を有害量含んではない。 <table><tr><td>材 名</td><td>規 格</td><td>用 途</td><td>備 考</td></tr><tr><td>再生クラッシャーラン</td><td>RC-40</td><td>下層路盤</td><td></td></tr><tr><td>再生粒度調整碎石</td><td>RM-30</td><td>上層路盤</td><td></td></tr><tr><td>再生加熱アスファルト混合物</td><td>密粒度アスコン（13）</td><td>表層</td><td></td></tr></table>	材 名	規 格	用 途	備 考	再生クラッシャーラン	RC-40	下層路盤		再生粒度調整碎石	RM-30	上層路盤		再生加熱アスファルト混合物	密粒度アスコン（13）	表層	
材 名	規 格	用 途	備 考															
再生クラッシャーラン	RC-40	下層路盤																
再生粒度調整碎石	RM-30	上層路盤																
再生加熱アスファルト混合物	密粒度アスコン（13）	表層																
2-6	建設発生土の利用	本工事に使用する埋戻し、盛土材については、本工事の掘削土を利用する ただし、掘削土が埋め戻し材に適さない場合や、やむを得ない事情等により掘削土が利用出来ない場合は、監督職員と協議の上、指示によるものとし、設計変更の対象とする。また、土量（処分等を含む）の確認方法については、監督職員と協議すること。																
2-8	埋戻し材について	本工事に使用する埋戻し材（碎石・良質土等）は、現場搬入前に確認のこと。なお、掘削埋め戻し材（流用土が埋め戻しに適しないと判断した時）は、入替え土に変更し、設計変更の対象とする。																
2-15	管材料の購入について	既設水道管の埋設位置が設計図書と整合しない場合が想定されるので、受注者は予め配管変更に対応できる材料を手配出来るようにしておくこと。また、監督職員の承諾を受けた配管変更は、設計変更の対象とする。																
2-16	鉛基準	本工事で青銅製製品を使用する場合、鉛基準値（平成15年4月1日改正）合格品を使用すること。特に、在庫品を使用する場合は、製造年月日を確認の上使用すること。																

2-17	給水管工事	1 配水管工事に付随する給水管接続工事は、京田辺市指定給水装置工事業者が施工すること。 2 本工事で施工する給水管分岐工に伴いサドル分水栓による穿孔を行なう際は、取り出しを行う配水管の管種に合ったキリを使い穿孔を行なうこと。 3 当初設計では、給水管接続替を道路上での接続としているが、今後の維持管理を考え甲止水栓が有る宅地はメーターまでの配管替の施工とする。ただし、現場状況や所有者の意向によりメーターまでの配管が出来ない宅地は、給水管標準図の各タイプ別による施工を行うものとし、監督職員から指示をする。 4 本設給水管分岐の施工を行う際、メーター直結止水栓一次側のパッキンを交換すること。 5 給水管の舗装版切断作業は、給水管の分岐位置確認後に施工を行うこと。																		
2-18	既設給配水管	1 既設水道管との接続及び既設水道管付近を掘削する時は、人力による掘削等により既設水道管を確認した上で、損傷を与えないように施工すること。 2 試掘時に既設管付近の掘削は慎重に行い、既設管を損傷しないように施工すること。 3 不明な既設給水管が出てきた際は、速やかに監督職員に報告するとともに、協議の上その指示によるものとし、設計変更の対象とする。																		
2-19	耐震型ダクティル鉄管の配管	1 耐震型ダクティル鉄管を配管する技能者は、耐震管講習会を受講し終了した者でなければならない。また、工事着手に先立ち配管技能者の講習会修了証写し経歴書を写真とともに提出すること。 2 耐震型ダクティル鉄管の接合にあたっては、日本ダクティル鉄管協会発行の接合要領書を参照して施工すること。また、安全作業の確保のために労働安全衛生規則を厳守すると共に、接合要領書の注意事項を守ること。 3 ダクティル鉄管の天端に管明示テープ（年号入り）を貼り付けること。																		
3 施工計画書																				
3-1	施工計画書	共通仕様書 1－1－1－4 に規定する施工計画書を工事着手前に提出すること。また、変更があればその都度変更計画書を提出しなければならない。 ただし、軽微な変更（工期や数量のみの変更等）の場合は、変更施工計画書を省略出来るものとする。																		
5 工事の着手																				
5-1	始期日	本工事の切替弁は、納期に時間を要するため、契約後早急に試掘を行い設置場所を確定し、材料を手配すること。																		
5-3	事前調査	工事着手前に土地所有者立会のうえ、井戸及び隣接家屋等の写真を撮り、後日問題の生じないようにすること。なお、工事に伴い隣接家屋等に損害を与えた場合は、受注者の責任において対処すること。																		
7 支給材料及び貸与品																				
7-1	支給材料	支給材料は、下記のとおりとする。 <table><tr><td>名 称</td><td>形状寸法</td><td>単位</td><td>数量</td><td>受渡し場所</td><td>適用</td></tr><tr><td>給水明示ピン</td><td></td><td>個</td><td>必要個数</td><td>上下水道部事務所</td><td></td></tr><tr><td>パッキン</td><td>φ 20 ・ φ 13</td><td>枚</td><td>必要枚数</td><td>上下水道部事務所</td><td></td></tr></table> 支給材料については、監督職員の立会のうえ数量及び材料に損傷が無いかを確認すること。 工事区間にメーターバルブ不良がある場合は、支給するので取替を行うこと。 明示ピンが設置されていない場合は、支給するので明示ピンを設置すること。なお、最終の設置数を変更数量とし設計変更の対象とする。	名 称	形状寸法	単位	数量	受渡し場所	適用	給水明示ピン		個	必要個数	上下水道部事務所		パッキン	φ 20 ・ φ 13	枚	必要枚数	上下水道部事務所	
名 称	形状寸法	単位	数量	受渡し場所	適用															
給水明示ピン		個	必要個数	上下水道部事務所																
パッキン	φ 20 ・ φ 13	枚	必要枚数	上下水道部事務所																

8 工事現場発生品								
8-1	発生土処分(指定地処分)	本工事による発生土は、下表の指定地への搬出とし、施工に際しては、別に定めた様式により、事前に施工計画書に含めて「残土処理計画書」を事後に「残土処理報告書」を監督職員へ提出すること。契約後、速やかに受注者が指定処分地と受入れについて協議を行うこと。協議の結果、指定地への処分がやむを得ず不可となる場合は、監督職員と協議の上、その指示によるものとし、設計変更の対象とする。 土壌の事前分析結果を監督職員に提出すること。 【砂質土・レキ質土】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>処分地</th><th>処分期間及び搬入時間</th><th>その他</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(一財)城陽山砂利採取地整備公社</td><td> ・本工事工事期間 ・平日及び土曜日の午前8時30分から午後5時00分までとする。 </td><td> ・契約後、速やかに受注者が公社と協議を行い、搬入受入契約を締結すること。 ・土壌の事前分析検査料を支払うこと (税抜き 60,000円) ・処分地費用 2,363円/m³ </td></tr> </tbody> </table>	処分地	処分期間及び搬入時間	その他	(一財)城陽山砂利採取地整備公社	・本工事工事期間 ・平日及び土曜日の午前8時30分から午後5時00分までとする。	・契約後、速やかに受注者が公社と協議を行い、搬入受入契約を締結すること。 ・土壌の事前分析検査料を支払うこと (税抜き 60,000円) ・処分地費用 2,363円/m³
処分地	処分期間及び搬入時間	その他						
(一財)城陽山砂利採取地整備公社	・本工事工事期間 ・平日及び土曜日の午前8時30分から午後5時00分までとする。	・契約後、速やかに受注者が公社と協議を行い、搬入受入契約を締結すること。 ・土壌の事前分析検査料を支払うこと (税抜き 60,000円) ・処分地費用 2,363円/m³						
8-3	建設廃棄物の処理	コンクリート塊及びアスファルトコンクリート塊で、埋戻し等に流用出来ないものについては、受注者による「再生資源処理施設」への搬出処理とする。 施工に際しては、別に定めた様式により、事前に「廃棄物処理計画書」(産業廃棄物処理委託契約書写し及び処理業者の許可書写し添付)を施工計画書に含め提出し、事後に「廃棄物処理報告書」を監督職員へ提出すること。また、「産業廃棄物管理表」(マニフェスト)により適正な処理を行うこと。 なお、数量の増減による場合を除き、設計変更は行わない。 (産業廃棄物税) 平成17年4月1日より「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税(以下「産廃税」という。)は、京都府内の最終処分施設について課税されるものである。また、中間処理施設に搬入された産業廃棄物においても、リサイクル後の処理残滓等が最終処分場に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税される。 なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。 (その他) 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、適正に処理するものとし、必要な経費については、監督職員と協議の上、設計変更の対象とする。 ここで、「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」に基づき、産業廃棄物の排出業者(受注者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正な処理のために必要な廃棄物情報(成分や性状等)を処理業者に提供することが必要である。 なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督職員から請求があった場合は、提示しなければならない。						

再生資源利用（促進）計画

（（再生資源利用計画）

「土木工事共通仕様書（案） 1-1-1-22建設副産物 4. 再生資源利用計画」については、下記のとおり読み替えるものとする。

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書にその写しを添付して監督職員に提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、工事現場において再生資源利用計画を公衆の見やすい場所に掲げなければならない。

（受領書の交付）

受注者は、土砂を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。

（再生資源利用促進計画）

「土木工事共通仕様書（案） 1-1-1-22建設副産物 5. 再生資源利用促進計画」については、下記のとおり読み替えるものとする。

受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含めて監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

（再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等）

受注者は、再生資源利用促進計画の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更に關して発注者等が行った土壌汚染対策法等の手続き状況や、搬出先が盛土規制法の許可地であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。

また、確認結果は再生資源利用促進計画に添付するとともに、工事現場において公衆の見やすい場所に掲げなければならない。

（建設発生土の運搬を行う者に対する通知）

受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするときは、「再生資源利用促進計画」に記載した事項（搬出先の名称及び所在地、搬出量）と「再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等」で行った確認結果を、委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

（建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等）

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督職員から請求があった場合は、受領書の写しを提出しなければならない。

（計画書及び実施書の様式及び保管）

「土木工事共通仕様書（案） 1-1-1-22建設副産物 8. 計画書及び実施書の様式及び保管」については、下記のとおり読み替えるものとする。

○国土交通省ホームページ公開場所

「再生資源利用〔促進〕計画様式（建設リサイクル報告様式兼用）」

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

掲載の再生資源利用〔促進〕（計画書・実施書）（EXCEL形式）を使用し、自社で工事完成後5年間保管し、計画書1部、実施書1部及び上記ホームページに掲載の様式を用いて作成した電子データを監督職員に提出するものとともに、再生資源利用促進計画書を公衆の見える場所に掲示する。

（建設副産物情報交換システムを利用の場合は、計画書1部、実施書1部を提出するものとする。）

8-8	特定建設資材の分別解体・再資源化等	本工事は、建設リサイクル法に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。積算条件は以下のとおりであるが、数量の増減による場合を除き、設計変更は行わない。なお、請負契約締結時に別添「法第13条及び省令第4条に基づく書面」を提出し、監督職員の確認を受けること。 <table><tr><td rowspan="7">工程ごとの作業内容及び解体方法</td><td>工 程</td><td>作業内容</td><td>分別解体の方法</td></tr><tr><td>①仮設</td><td>仮設工事 ■有 □無</td><td>☐手作業 ■手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>②土工</td><td>土工事 ■有 □無</td><td>☐手作業 ■手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>③基礎</td><td>基礎工事 □有 ■無</td><td>☐手作業 □手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>④本体構造</td><td>本体構造の工事 □有 ■無</td><td>☐手作業 □手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>⑤本体付属品</td><td>本体付属品の工事 □有 ■無</td><td>☐手作業 □手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>⑥その他 (As、Co)</td><td>その他の工事 ■有 □無</td><td>☐手作業 ■手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (受注者「契約書 別添」記載内容) 2 解体工事に要する費用 ・全ての建設資材についての解体工事費用 ・分別解体費用＋積み込み費用・直工ベース（税抜き） 3 再資源化等をするための施設の名称及び所在地 ・特定建設資材の搬出先 ・各品目毎に記載 4 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用 ・特定建設資材の処分費運搬費 ・直工ベース（税抜き）			工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作業内容	分別解体の方法	①仮設	仮設工事 ■有 □無	☐ 手作業 ■手作業・機械作業の併用	②土工	土工事 ■有 □無	☐ 手作業 ■手作業・機械作業の併用	③基礎	基礎工事 □有 ■無	☐ 手作業 □手作業・機械作業の併用	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	☐ 手作業 □手作業・機械作業の併用	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	☐ 手作業 □手作業・機械作業の併用	⑥その他 (As、Co)	その他の工事 ■有 □無	☐ 手作業 ■手作業・機械作業の併用			
		工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作業内容		分別解体の方法																							
①仮設	仮設工事 ■有 □無		☐ 手作業 ■手作業・機械作業の併用																										
②土工	土工事 ■有 □無		☐ 手作業 ■手作業・機械作業の併用																										
③基礎	基礎工事 □有 ■無		☐ 手作業 □手作業・機械作業の併用																										
④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無		☐ 手作業 □手作業・機械作業の併用																										
⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無		☐ 手作業 □手作業・機械作業の併用																										
⑥その他 (As、Co)	その他の工事 ■有 □無		☐ 手作業 ■手作業・機械作業の併用																										
9 工事材料の品質																													
9-2	材料検査証明	1 受注者は、材料検査時に使用する管材料一覧表を用意し、監督職員の確認を受けた後に、使用すること。 また、工事完成時に材料納品書を提示すること。 2 在庫品の材料使用については、外観等に異常が無いかを確認し、監督職員の承諾を得た上で使用すること。特に、ゴム製品については劣化が無いかを確認してから使用すること。 なお、在庫品の使用箇所で漏水等が起こった場合は、受注者が責任を持って対応すること。																											

1 0 監督職員による検査及び立会い等

10-1	段階確認(立会)	受注者は、下表の工種及び監督職員の指示した工種の施工段階において、段階確認を受けなければならない。ただし、段階確認の実施時期及び実施箇所は監督職員が定めるものとする。 <table><tr><td>種 別</td><td>細 別</td><td>確認時期・項目</td><td>備 考</td></tr><tr><td>材料検収</td><td></td><td>材料使用前</td><td></td></tr><tr><td>配管工</td><td></td><td>不断水削孔時</td><td></td></tr><tr><td>配管工</td><td>既設管接合工</td><td>既設管接続時</td><td></td></tr><tr><td>水圧テスト</td><td></td><td>布設工事完成時</td><td></td></tr><tr><td colspan="3">上記以外でも、水道工事の大半は、工事完了後に明視不可部となることから、特に重要となる箇所においては監督職員が立会するとともに、状況が確認できる写真を撮っておくこと。</td><td></td></tr></table>		種 別	細 別	確認時期・項目	備 考	材料検収		材料使用前		配管工		不断水削孔時		配管工	既設管接合工	既設管接続時		水圧テスト		布設工事完成時		上記以外でも、水道工事の大半は、工事完了後に明視不可部となることから、特に重要となる箇所においては監督職員が立会するとともに、状況が確認できる写真を撮っておくこと。			
種 別	細 別	確認時期・項目	備 考																								
材料検収		材料使用前																									
配管工		不断水削孔時																									
配管工	既設管接合工	既設管接続時																									
水圧テスト		布設工事完成時																									
上記以外でも、水道工事の大半は、工事完了後に明視不可部となることから、特に重要となる箇所においては監督職員が立会するとともに、状況が確認できる写真を撮っておくこと。																											
10-3	立会（粘性土）	受注者は、掘削等により生じた建設発生土について、粘性土が確認された場合は、監督職員と立会・協議の上、処分等について、監督職員の指示によるものとする。																									
1 1 随時検査																											
11-1	随時検査	1 受注者は、下表の工種及び監督職員の指示した工種の施工段階において、随時検査を受けなければならない。 2 随時検査は、検査日までに完成した出来形部分について、技術的確認は行うが、給付の対象としない。 3 随時検査は、検査日までに完成した出来形部分を対象として、次の各号に掲げる検査を行う。 (1) 工事の出来形部分に対する管理状況（形状、寸法、精度、数量、品質及び出来映え） (2) 写真、打合せ記録及びその他書類。 <table><tr><td>工 種</td><td>種 別</td><td>検査時期・項目</td><td>備 考</td></tr><tr><td>工事全般</td><td></td><td>各工種毎</td><td></td></tr><tr><td>完成下検査</td><td></td><td>社内検査完了時</td><td></td></tr></table>		工 種	種 別	検査時期・項目	備 考	工事全般		各工種毎		完成下検査		社内検査完了時													
工 種	種 別	検査時期・項目	備 考																								
工事全般		各工種毎																									
完成下検査		社内検査完了時																									
1 2 部分使用																											
12-1	部分使用	本工事において設置する全ての水道施設・設備については、工事請負契約書第3 3 条 1 項に規定する部分使用を予定しているため、布設完了確認・各種水圧試験合格後、供用を開始するものとする。																									
1 3 施工管理																											
13-1	施工管理	1 給水管分岐（接続替）工事におけるサドル分水栓の取付け位置は、既設メーター位置より左右5 0 cm以内とし、現場状況により左右5 0 cm以内に取付けが出来ない場合は、監督職員と協議の上施工すること。 2 ダクタイル鋳鉄管切断に使用するエンジンカッターは、ダイヤモンドブレードを使用すること。（切断砥石（レジノイド）は使用不可） 3 ダクタイル鋳鉄管の切断加工は、エポキシ塗装の施工とし、施工の際には所定の乾燥時間を厳守すること。																									

13-2	出来形管理	受注者は、工事の進捗に応じて、出来形及び出来形数量を算出し、その結果を監督職員の指示した期日までに提出すること。				
13-3	品質管理	本工事の施工に伴い実施する品質管理試験は、品質管理基準に記載される「必須」項目を実施し、「その他」の項目については下表及び監督職員の指示により実施すること。なお、品質管理試験結果を速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。				
		工 種	種 別	試験項目	試験頻度	
		管理基準必須項目とする				
13-4	品質・出来形の規格値	品質及び出来形の規格値は、土木工事施工管理基準及び規格値によるが、次の工種については、下表のとおりとする。				
		管理種別	工 種	項 目	規格値	適 用
		品質管理	管理基準必須			
		出来形管理	管理基準必須			
13-5	写真管理	工事写真は、工事記録写真作成の手引き（平成１４年１月改定、上下水道部）及び土木工事施工管理基準の写真管理基準（案）により撮影すること。 また、写真撮影時には実測寸法と設計寸法を黒板に表記し、設計寸法は（ ）書きとする。				
1 4 工事中の安全確保						
14-1	工法変更等への対応	1 構造物等の施工において、湧水、その他の障害のため通常の工法では初期の目的を達することが出来ない箇所については、工法及び対策を監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。 2 工事中における民生安定上または関係機関との協議の結果、新たな作業及び構造の変更が生じた場合は、必要に応じ監督職員と協議の上、その指示によるものとし、設計変更の対象とする。				
14-2	安全、訓練等	受注者は土木工事共通仕様書（案）の１－１－１－３０「工事中の安全確保」の１１から１３に規定する安全に関する研修・訓練等を実施するものとする。				
14-3	近接施工	1 本工事区間に隣接して下水道管及び大阪ガス株のガス管があるため、工事施工に際しては、関係官署と現地立会の上、当該施設の位置、高さ、施設の状態等を確認し、保安対策について十分打合せを行い、支障を及ぼさないようにすること。保安対策の打合せを行った時は、「立会打合せ調書」に立会者の押印を求め、当該調書の写しを監督職員に提出すること。 なお、打合せの結果、保安対策及び工法の変更が生じた場合は監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。 2 受注者の責により、当該施設に支障を及ぼした場合は、速やかに監督職員に報告するとともに、関係機関に連絡し、応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。				
14-4	道路上での安全施工	道路上での作業では、その日の作業終了後に通行規制を解除することから、既設舗装のある区間においては即日仮復旧を施工すること。 また、路面は絶えず注意し、傷んだ箇所があれば早急に補修すること。				
14-9	仮復旧	供用済道路の掘削箇所については、原則として即日埋め戻し、As合材による仮復旧を行い交通開放すること。 なお、仮復旧箇所については、絶えず監視を行い、剥がれ・バラつき等があれば、早急に修繕を行うこと。 また、公道上での作業完了後、舗装本復旧までの間、道路管理者等がAs仮復旧跡が識別できるよう道路上復旧跡に青又は白色スプレーにて「上水」とマーキング標記を行うこと。				

1 6 環境対策																															
16-1	低騒音型・超低騒音型の使用	本工事の施工に当たっては、「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和62年3月30日建設省経機発第58号)に基づき低騒音型建設機械の使用原則を図る地域であるため、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成13年度4月9日改正建設省告示第1536号)に基づき指定された下記の低騒音型建設機械を使用するものとする。 ただし、これにより難しい場合は、必要書類を提出し監督職員と協議するものとする。 上記において、「これにより難しい場合」とは、供給側に問題があり、低騒音型建設機械を調達することが出来ない場合であり、受注者の都合で調達できない場合は認めない。 なお、低騒音型建設機械を使用する場合、施工現場において使用する建設機械の「97㍻ﾙ」が確認できる写真を監督職員に提出するものとする。また、「旧基準'89㍻ﾙ」の機種においても新基準の指定を受けているケースもあるため、建設機械メーカーに確認し、「新基準'97㍻ﾙ」に貼替えを行うこと。																													
16-4	公害対策	本工事の施工にあたっては、公害が生ずることの無いよう、十分な計画と管理を行うこと。																													
1 8 交通安全管理																															
18-1	安全対策	安全対策については、交通誘導員を計上しているが、道路管理者及び所轄警察署との打合せ結果により変更等が生じた場合は監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。																													
18-2	安全施設類	標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合せを行い実施すること。 なお、打合せの結果または、施工条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合は、監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。 交通誘導員Bについては、下表のとおり計上しているが、道路管理者、所轄警察署と打合せ結果又は、条件変更に伴い員数等に増減が生じた場合は、監督職員と協議の上設計変更の対象とする。 受注者は、施工に先立ち、施工計画書に、安全施設類等の設置計画を作成し、監督職員に提出すること。また、工事期間中の安全施設類等の設置状況が判明出来るよう写真等を整備し、完成検査時に提出すること。 本工事における交通誘導員Bは、24名計上している。																													
		<table><tr><td>配 置 場 所</td><td>交 通 誘 導 員</td><td>備 考</td></tr><tr><td>市道部</td><td>2名/日</td><td></td></tr></table>						配 置 場 所	交 通 誘 導 員	備 考	市道部	2名/日																			
配 置 場 所	交 通 誘 導 員	備 考																													
市道部	2名/日																														
1 9 諸法令の遵守																															
19-1	諸法令の遵守	1 受注者は、労働基準法等の主旨にのっとり、労働時間について遵守しなければならない。 2 受注者は、道路法、道路運送車両法及び道路交通法の主旨に基づき、資材運搬等に必要な車両の諸元について当該法律を遵守しなければならない。																													
2 0 官公庁への手続き等																															
20-2	地下埋設物等	本工事区間内の近接物件は下表のとおりである。受注者は各企業と連絡・調整を十分行うこと。																													
		<table><tr><td>地下埋設物件</td><td>管理者</td><td>位置</td><td>企業者との協議</td><td>移設時期</td><td>工事方法</td><td>立会</td><td>備考</td></tr><tr><td>ガス管</td><td>大阪ガス</td><td>市道</td><td>未</td><td></td><td></td><td>未</td><td>近接地下埋設</td></tr><tr><td>下水道管</td><td>下水道課</td><td>市道</td><td>未</td><td></td><td></td><td>未</td><td>近接地下埋設</td></tr></table>						地下埋設物件	管理者	位置	企業者との協議	移設時期	工事方法	立会	備考	ガス管	大阪ガス	市道	未			未	近接地下埋設	下水道管	下水道課	市道	未			未	近接地下埋設
地下埋設物件	管理者	位置	企業者との協議	移設時期	工事方法	立会	備考																								
ガス管	大阪ガス	市道	未			未	近接地下埋設																								
下水道管	下水道課	市道	未			未	近接地下埋設																								
2 1 施工時期及び施工時間の変更																															
21-1	施工時間	本工事の作業時間帯は、通常の昼間施工とするが、関係機関、自治会等からの協議の結果、変更が生じた場合は、速やかに監督職員と協議するものとする。																													

2 2 工事書類		
22-1	提出図書一覧	本工事における提出書類は、別紙による。
22-2	配管作業報告	日々の作業において、作業箇所や配管詳細（配水管・給水管）を整理し、監督職員に提出すること。
22-3	竣工図面	工事完成時に提出する竣工図面は、設計図面及び変更設計図面の図面名称の種類を提出することとし、給水管引込み位置及び分岐位置寸法を明記し、既設管、仮設管等撤去済みのものは削除すること。また、竣工図面は原図（A 1）及び電子媒体（C D-R等）を提出することとし、原図はマイラーまたはホワイトジュランとする。電子媒体は竣工図面（P D Fデータ及びC A Dデータ）を格納すること（事前のウイルスチェックをすること）。その他監督職員の指示に従い修正すること。原図及び電子媒体の提出としては、以下のとおりとする。 1 平面図、配管詳細図、横断面図、給水分岐図のみ。（平面に土被りが記載されていない場合は土工図が必要） 2 土工図、ボックス標準図は不要。
2 3 その他事項		
23-1	その他事項	1 工期内検査が出来るよう完成図書作成を含め、工程管理を行うこと。 2 水道管配管後の水張り及び断水時における洗管作業には、現場代理人または主任技術者が立会うと共に、現場状況により作業の補助をすること。また、水道工事が原因により給水装置等が故障した場合は、受注者は対応すること。 3 配水管布設工事で設置した仕切弁ボックス等は、都市整備課発注の排水路整備工事業者が舗装工事を施工するので、ボックス仕上り高及び矢印方向などを舗装工事施工者と調整を図ること。 4 本工事施工に際し、現場事務所・工事用車両の駐車場及び資材置場等については、受注者において確保すること。なお、工事関係者及び公衆が見やすい場所に施工体系図、再生資源利用（促進）計画、建退共、建設業の許可及び労災保険等の標示を行い、良好な施工体制に努めること。 5 本工事不断水ストッパーにセットされている仕切弁は、仮設管撤去後仕切弁ボックスを設置しない予定であるが、仕切弁保護のための措置を講じること。 6 本工事の切替弁は、納期に時間を要するため、契約後早急に試掘を行い設置場所を確定し、材料を手配すること。 7 本工事は、本市建設部実施の排水路整備工事に伴う配水管支障移設工事であるため、令和8年9月中旬までに現場作業を完了させること。なお、設置予定である切替弁は、納期に時間を要するため工程管理に努めること。

※京都府では、令和6年4月に土木工事共通仕様書（案）、令和8年4月に土木請負工事必携、平成29年9月に土木工事施工管理基準が改正されている。本特記仕様書と異なる箇所があった場合は、本特記仕様書を優先する。

土木工事書類一覧表

分類	提出書類	根拠法令等	発注者 へ提出	完成検査		様式	備考
				提示	提出		
① 契約関係	当初	契約書	建設業法第18条、第19条	○			
		仲裁合意書	契約書第52条	○		○	
		契約保証金に関する書類	契約規則43条～45条	○			請負代金額が500万円以上の場合のみ該当
		建設リサイクル法第13条及び省令第4条に基づく書面	建設リサイクル法第13条及び省令第4条	○		○	該当する場合のみ ※契約書に綴じ込み
		誓約書(元請分)	京田辺市暴力団排除条例第12条第5項	○		○	請負代金額が150万円以上の場合のみ該当
		現場代理人等(変更)通知書	契約書第10条1項	○		○	
		経歴書		○		○	
		現場代理人兼任届	契約書第10条3項	○		○	該当する場合のみ
		技術者の専任を要する工事の兼任届	契約書第10条3項	○		○	該当する場合のみ
		請負代金内訳書	契約書第3条1項	○		○	
		工事工程表	契約書第3条1項	○		○	
		工事着手届		○		○	
		建退共掛金収納書	共通仕様書1-1-1-44	○		○	参考様式を市HPに掲載。 提出出来ない場合は理由を書面で提出する。
		課税事業者届出書		○		○	課税事業者のみ提出
		免税事業者届出書		○		○	免税事業者のみ提出
		下請予定調書		○		○	監理技術者の確認のために求めるもの。 下請施工の総額を概算で記入。
		火災保険、建設保険その他工事施工に伴う保険証券の写し		○			必要に応じて
		その他市長が必要と認める書類		○			必要に応じて
		前払金請求書	契約書第34条1項	○		○	前払金を請求する場合のみ提出 ※保証会社の保証証書2部と合わせて提出。
	完成検査及び引渡し	工事完成届	契約書第31条1項	○		○	
		工事目的物引渡書	契約書第31条4項	○		○	
	部分引渡し	請求書	契約書第32条1項	○		○	
		(指定部分に係る)工事完成届	契約書第38条1項	○		○	
		(指定部分に係る)工事目的物引渡書	契約書第38条1項	○		○	
	部分払い検査	(指定部分に係る)請求書	契約書第38条1項	○		○	
		工事出来高届	契約書第37条2項	○		○	
		工事出来高内訳書	契約書第37条2項 共通仕様書1-1-1-25	○		○	
		出来高図、数量計算書	契約書第37条2項 共通仕様書1-1-1-25	○			
	補修関係書類	請求書	契約書第37条5項	○		○	
		補修(改造)命令書	契約書第31条6項			○	
	その他	補修(改造)工事完成届	契約書第31条6項	○		○	
		部分使用承諾願(書)	契約書第33条1項			○	部分使用がある場合に提出する。
		工事延期願	契約書第18条～22条	○		○	工期延期が発生する場合に提出する。
② 工事着手前		工事実績情報サービス(CORINS)登録内容確認書	共通仕様書1-1-1-5	○			請負代金額が500万円以上の場合のみ該当 登録内容確認書を監督職員に提示する。
		施工計画書	共通仕様書1-1-1-4	○		○	軽微な場合の変更施工計画書は提出不要。 (工期や数量のみの変更の場合)
		施工体制台帳	共通仕様書1-1-1-13	○		○	下請契約がある場合に提出する。
		施工体系図	共通仕様書1-1-1-13	○		○	下請契約がある場合に提出する。
		誓約書の写し(下請分)	京田辺市暴力団排除条例第12条第5項	○		○	請負代金額が150万円以上の場合のみ該当。 施工体制台帳に各誓約書の写しを添付
		設計図書の照査確認資料	共通仕様書1-1-1-3	○		○	契約書第18条第1項1～5号に該当する事実が有る無しに関わらず、監督職員に提出する。(契約書第18条第1項の範囲を超えないこと。)
		事前測量結果資料	共通仕様書1-1-1-41	○		○	
		工事打合簿(指示)				○	発注者が2部作成し、1部ずつ保管。
		工事打合簿(協議、承諾)		○		○	発注者と受注者間でのやり取りがある協議などの場合は、資料2部を提出し、1部返却し、双方が1部ずつ保管。
		工事打合簿(提出、報告、通知、届出)		○		○	
③ 工事中		再生資源利用計画書 再生資源利用促進計画書(実施書) (建設副産物を搬入、搬出する場合)	共通仕様書1-1-1-22	○		○	該当する再生資源がある場合、計画書は、施工計画書に含めて提出する。電子データは別途提出する。建設副産物情報交換システムを利用した場合は、電子データの提出は不要。
		建設発生土処理計画書 建設発生土処理報告書	共通仕様書1-1-1-22	○		○	計画書は、施工計画書に含めて提出する。
		処理委託契約書の写し	共通仕様書1-1-1-22			○	
		産業廃棄物管理票(マニフェスト)	共通仕様書1-1-1-22			○	産業廃棄物がある場合に検査時に提示する。

土木工事書類一覧表

分類	提出書類	根拠法令等	発注者 へ提出	完成検査		様式	備考
				提示	提出		
	運搬管理表	共通仕様書1-1-1-36	○		○	○	対象:契約図書にある建設副産物(建設発生土、産業廃棄物)等の運搬作業 廃棄物の種類ごとに分類する。 ※現着購入資材の現場までの運搬は対象外 ※現場内の運搬は対象外
	関係官公庁協議資料	共通仕様書1-1-1-39	○		○		関係官公庁と協議が必要な場合に届出後の書類を提出する。(届出前の事前資料は提出不要)
	材料確認簿	共通仕様書第2編1-2	○		○	○	
	材料品質証明資料(材料承諾願)	共通仕様書第2編1-1.2		○			設計図書で提出を求められているものについては、監督職員に提出。
	段階確認書	共通仕様書3-1-1-4	○		○	○	契約図書で規定された場合のみ対象。
	確認・立会書	共通仕様書3-1-1-4	○		○	○	
	段階確認・立会時の資料	共通仕様書3-1-1-4	○		○		監督職員等が臨場していれば、立会・確認の写真は不要。 完成検査時の提出書類は、監督職員の保管書類。
	工事履行報告書	契約書第11条 共通仕様書1-1-1-28	○		○	○	月報報告。
④安全管理	安全・訓練報告書	共通仕様書1-1-1-30		○			具体的な実施計画は、施工計画書に記載する。
	安全訓練実施資料			○			
	工事事故報告書	共通仕様書1-1-1-33	○		○	○	速報は、口頭で連絡する。
	災害防止協議会活動記録			○			
	店社パトロール実施記録	土木工事安全施工技術指針・ 労働安全衛生法 他		○			
	安全巡視、TBM、KY実施記録			○			
	新規入場者教育実施記録			○			
	使用機械、車両点検記録			○			
⑤ 工程管理 施工管理	実施工程表	共通仕様書1-1-1-27	○		○	○	
	出来形成果表	共通仕様書3-1-1-5	○		○		出来形測量を基に出来形数量を算出し、最終設計値と実測値を対比する。
	出来形図	共通仕様書3-1-1-5	○		○		
	出来形管理図表	共通仕様書 3-1-1-5、1-1-1-24	○		○		測点数が5点未満の場合は作成不要
	品質管理 各種試験データ資料	共通仕様書1-1-1-24	○		○		
	品質管理図表	共通仕様書1-1-1-24	○		○		測点数が5点未満の場合は作成不要
	ヒストグラム(品質)	共通仕様書1-1-1-24	○		○		測点数が5点未満の場合は作成不要(ただし、特殊な場合(ダムコンクリート等)を除く)
	写真管理 工事写真	共通仕様書1-1-1-24	○		○		
⑥支給品、 貸与品、現 場発生品	支給品精算書	共通仕様書1-1-1-20	○				支給品がある場合に提出する。
	現場発生品調書	共通仕様書1-1-1-21	○			○	現場発生品がある場合に提出する。
	支給材料受領書(貸与品借用書)	契約書第15条3項	○			○	支給品を受領した場合に提出する。
⑦その他	材料納入伝票	共通仕様書第2編1-1.2 契約書第13条		○			監督職員が提出を求めた場合のみ提出、それ以外の場合は提示。 交通誘導員は有資格者が必要な場合は資格証の写しを提出、伝票は提示。
	建退共運営実績報告書	共通仕様書1-1-1-44	○		○	○	実績報告: ①率で購入し、当初契約額が3千万円未満の場合:実績報告書(A) ②計画で購入又は当初契約額が3千万円以上の場合:実績報告書(A)及び(B)
	建退共証紙受払資料	共通仕様書1-1-1-44		○			受払簿、出面表、辞退届については検査時に提示する。
	社内検査報告書			○			
	創意工夫に関する説明資料		○		○		創意工夫を実施すれば提出できる。

令和8年6月 日

(あて先) 上下水道部経営管理室

業 者 名

電話番号

質 問 書

工事（業務）名 令和8年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う配水管支障移設工事

上記工事（業務）の見積資料について、下記のとおり質問します。

記

質問内容

- ・ 締切り 令和8年6月25日（木）正午まで
- ・ 提出先 入札担当課 上下水道部 経営管理室

※提出がない場合は、質問事項無しとして取り扱います。

提出方法は、入札担当課まで直接持参の上、提出されるか、若しくは、Word データを電子メールにて提出してください。なお、電子メールで提出した場合は、受領確認の電話連絡をお願いします。

質問書送信先メールアドレス : suido@city.kyotanabe.lg.jp （経営管理室）

質問書受領確認電話番号 : 0774-62-0414 （経営管理室）

- ・ 回 答 令和8年6月30日（火） 13時以降
入札情報公開システムに掲載します。

※本設計書は参考資料であり、あくまで発注者の予定価格を算出するためのもので、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。

工 事 番 号		施 工 年 度	令和8年度
工 事 名 称	令和8年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う配水管支障移設工事		
工 事 場 所	京田辺市 興戸 地内		
施 工 主		工事延長 L=70m 本管布設 DCIP(K) φ 300 L=2. 5m DCIP(GX) φ 250 L=67. 9m 泥吐管 N=2箇所 給水管分岐 φ 20 N=3箇所 既設管撤去 N=1式 試掘工 N=1式	
設 計 区 分			
路 線 名			
工 事 期 間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日		
工 事 日 数			
部 課 名	京田辺市 上下水道部 上水道課		
積 算 担 当			
合 計 額			
工 事 価 格			
消 費 税			

設 計 履 歴

基礎単価名： 令和8年05月01日（建設物価4月号、積算資料4月号）

施工単価名： 令和7年度積算基準

間接費率名： 水道事業（R8年）

データフォルダ： X:\¥WINMOTOV2¥dat¥R08-04¥

費率フォルダ： X:\¥WINMOTOV2¥rit¥R08-05¥

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費						週休2日 週 単 位	労務費 1.02	共通仮設費 1.02 現場管理費 1.03
		DCIP(K) φ300		式	1			第 1号明細書
		DCIP(GX) φ250		式	1			第 2号明細書
		泥吐管		式	1			第 3号明細書
		給水		式	1			第 4号明細書
		試掘		式	1			第 5号明細書
		仮設工(交通管理工)		式	1			第 6号明細書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		技術管理費		式	1			第 7号明細書
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事原価								
		一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格								
消費税相当額								
合計額								

間 接 工 事 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	開削工事及び小口径推進等	工事日数(内冬日数)		共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響あり②	週休2日工事	週単位	現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	支給品費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし	処分除外費			

算 出 基 礎					
---------	--	--	--	--	--

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

共 通 仮 設 費 = 対象額 × 率
= × %
=

対象額 = 直接工事費 + 支給品費 + 事業損失防止施設費 - 共通仮設費対象外額 - 支給共仮費対象外額 + 準備費処分費 - 処分除外費 - 特殊製品費/2 - 共通仮設積上(特殊製品費)/2 - 支給品費(特殊製品費)/2
= + + - - + - - -
=

率 = 対象額による率 × 地域補正係数 × 週休2日工事(週単位)補正
= % × ×
= % × → ∴ % × → ∴ %

対象額による率 = %

現 場 管 理 費 = 対象額 × 率
= × %
=

対象額 = 純工事費 - 現場対外額 + 支給品費 - 特殊製品費/2 - 共通仮設積上(特殊製品費)/2 - 支給品費(特殊製品費)/2 - 処分除外費
= - + - - - -
=

率 = 対象額による率 × 地域補正係数 × 週休2日工事(週単位)補正
= % × ×
= % × → ∴ % × → ∴ %

対象額による率 = %

間 接 工 事 明 細 書

算

出

基

礎

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} + \text{対象額} \times \text{契約保証補正值} - \text{調整額} \\ &= \quad \times \quad \% + \quad \times \quad \% - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{工事原価} - \text{一般管理費対象外額} - \text{処分除外費} + \text{一般管理補正額} \\ &= \quad - \quad - \quad + \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{前払補正} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

第 1号											1式当たり		明細書	
DCIP (K) φ 300														
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要						
材料費		DCIP (K) φ 300		式	1			第 1号仕訳表						
労務費		DCIP (K) φ 300		式	1			第 2号仕訳表						
土工費		DCIP (K) φ 300		式	1			第 3号仕訳表						
計														

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仮設工(交通管理工)

[illegible]

第 7号														
技術管理費											1式当たり		明細書	
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価		金 額		摘 要				
事前分析検査手数料		一般財団法人城陽山砂利採取地整備公社		工事	1									
計														

第 1号							1式当たり	仕訳表
材料費								
DCIP(K) φ 300								
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
K形 片落管(挿し受)	φ 300×250 68kg	個	1			建物04月P. 288全国②・積資04月P. 421全国②		
K形 曲管	φ 300×90° 125kg	個	1			建物04月P. 288全国②・積資04月P. 421全国②		
離脱防止特殊押輪	φ 300, 3DKN対応型	個	2					
K形メカ帽 特押セット価格 メカニカルジョイント形帽	φ 300, FCD製離脱防止押輪付	個	2					
継手補強金具(K形用離脱防止金具)	φ 300	組	8					
切換弁(受口K形90° タイプ)	φ 300(DCIP用)	基	1					
浅埋対応型ストッパー	φ 300(DCIP用)	基	1					
仕切弁ボックス	35型 H=0. 65m	組	1			第 1号代価表		
仕切弁ボックス	35型 H=0. 85m	組	1			第 2号代価表		
計								

第 2号							1式当たり	仕訳表
労務費 DCIP(K) φ300								
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
鋳鉄管吊込み据付(機械力)	呼び径 300、施工条件(指数計 0)	m	2.1			水道P-51		
メカニカル継手(特殊押輪を使用)	呼び径 300、施工条件(指数計 0)	口	2			第 3号代価表		
メカニカル継手(特殊押輪を使用)	呼び径 300、施工条件(指数計 0)	口	2			水道P-52	第 4号代価表	
メカニカル継手(特殊押輪を使用)	呼び径 300、施工条件(指数計 0)	口	2			3DKN	水道P-52	第 5号代価表
メカニカル継手(耐震型補強金具を使用)	呼び径 300、施工条件(指数計 0)	口	8			水道P-52	第 6号代価表	
切換弁設置工	φ300	箇所	1					
ストッパー設置工	φ300	箇所	1					
ストッパーボックス設置工	35型 H=0.65m	箇所	1				第 7号代価表	
切換弁ボックス設置工	35型 H=0.85m	箇所	1				第 9号代価表	
ポリエチレンスリーブ被覆工	呼び径 300、固定用ゴムバンドの場合	m	2.5			水道P-60	第 13号代価表	
管明示テープ工(天端明示無)	φ300×6m	m	2.5			水道P-63	第 14号代価表	
管明示シート工		m	2.5			水道P-64	第 15号代価表	
鋳鉄管 撤去管吊上げ積込み(機械力)	呼び径 300	m	49.5			水道P-106	第 16号代価表	
ダクトイル鋳鉄管(FCD)撤去管切断	呼び径 300、エンジンカッター使用	口	8			水道P-104	第 17号代価表	

第 2号										1式当たり		仕訳表	
労務費													
DCIP(K) φ300													
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額		摘 要				
鋳鉄管処分費(スクラップ)		鉄屑 H1		t	2.6								
計													

第 3号							1式当たり	仕訳表
土工費 DCIP(K) φ300								
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断		アスファルト舗装版、15cm以下		m	134.3			R07IV-3-③ 施工P-01
		舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下						
舗装版直接掘削・積込、舗装厚10cm以下		山積0.28m3(平積0.2)		m ²	57.6			水道P-166 第 18号代価表
バックホウ掘削積込		山積0.28m3(平積0.20)		m3	59.6			水道P-161 第 19号代価表
発生土処理(A s 塊、DIDあり)		4t車(良好)、山積0.28m3積込、距離=15.2km		m3	2.8			水道P-176 第 20号代価表
発生土処理(土砂、DIDあり)		4t車(良好)、山積0.28m3積込、距離=6.5km		m3	22.4			水道P-176 第 21号代価表
土砂入替工		山砂		m3	9			第 22号代価表
土砂入替工		流用土		m3	37.2			第 24号代価表 水道P-169
下層路盤工		施工幅1.8m未満、施工厚=15cm、施工層数=1		m ²	57.6			第 25号代価表 水道P-169
上層路盤工		施工幅1.8m未満、施工厚=17cm、施工層数=2		m ²	57.6			第 26号代価表 水道P-179
アスファルト舗装工(車道及び路肩)		1層当り、t ≤50mm(t=30mm)、		m ²	57.6			※瀝青材(Pコート) 第 27号代価表
アルミ矢板土留工		矢板長2.0m(両側分)		m	11.4			第 28号代価表
軽量金属製支保工		1段		m	11.4			第 31号代価表

[illegible]

第 3号仕訳表(施工P-01)

積算単位:m

標準単価:

舗装版切断／アスファルト舗装版、15cm以下

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K			15.05			
	K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式／切削深20cm級 フレート 径φ56cm	供/日	10.24		(15) 欄
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務 R			58.43			
	R 1	特殊作業員	人	19.96		
	R 2	土木一般世話役	人	10.88		
	R 3	普通作業員	人	8.92		
	R 4					
	R 5					
材料 Z			26.52			
	Z 1	コンクリートカッタ (フレート) 自走式切断機用／径18インチ	枚	22.39		
	Z 2	ガソリン／レギュラー	L	2.81		
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場 S						

$$\begin{aligned}
 P' = & \\
 & \times \left\{ \left(\frac{10.24}{100} \times \frac{15.05}{10.24} \right) \times \frac{15.05}{10.24} \right. \\
 & + \left(\frac{19.96}{100} \times \frac{19.96}{10.88+8.92} + \frac{10.88}{100} \times \frac{10.88}{19.96+10.88+8.92} + \frac{8.92}{100} \times \frac{8.92}{19.96+10.88+8.92} \right) \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \\
 & + \left(\frac{22.39}{100} \times \frac{22.39}{22.39+2.81} + \frac{2.81}{100} \times \frac{2.81}{22.39+2.81} \right) \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \\
 & \left. + \frac{100-15.05-58.43-26.52}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

第 4号						1式当たり	仕訳表
材料費 DCIP (GX) φ 250							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管GX形1種直管	径250mm×L5m 内面珪 [○]	本	12			建物04月P. 285全国②・積資04月P. 421全国②	
FCD異形管 GX形 二受T字管	R×250 径250mm	個	2			建物04月P. 286全国②・積資04月P. 423全国②	
FCD異形管 GX形 曲管	R×90度 径250mm	個	1			建物04月P. 286全国②・積資04月P. 423全国②	
FCD異形管 GX形 曲管	R×45度 径250mm	個	11			建物04月P. 286全国②・積資04月P. 423全国②	
FCD異形管 GX形 継ぎ輪	径250mm	個	2			建物04月P. 286全国②・積資04月P. 423全国②	
FCD異形管 GX形 短管 2号	φ 250 (7. 5K)	個	1			積資04月P. 423全国②	
FCD異形管 GX形 ライフ	径250mm	個	8			建物04月P. 286全国②・積資04月P. 423全国②	
FCD異形管 GX形 接合材料 (異形管・ソフツール弁用)	径250mm	個	15			建物04月P. 286全国②・積資04月P. 423全国②	
FCD異形管 GX形 切管ユニット	G-Linkセット 径250mm	個	15			建物04月P. 286全国②・積資04月P. 423全国②	
耐震GX形ソフツール仕切弁	両受口 1MPa 径250	個	2			建物04月P. 300全国②・積資04月P. 438全国②	
GX形 メタルシート仕切弁 (両受型)	φ 250 内外面粉体塗装	基	3				
浅埋形メタルシート仕切弁 (F形)	φ 250	基	1				
不断水割T字管 (F型)	φ 300 × φ 250 (DCIP用)	基	1				

第 4号							1式当たり	仕訳表
材料費								
DCIP (GX) φ 250								
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
フランジ継手材 (7.5K GF) LSPフランジパッキン	φ 250	組	2					
仕切弁ボックス	35型 H=1.2m	組	4				第 34号代価表	
仕切弁ボックス	35型 H=0.65m, 0.85m	組	2				第 35号代価表	
K形メカ帽 特押セット価格 メカニカルジョイント形帽	φ 250, FCD製離脱防止押輪付	個	2					
離脱防止特殊押輪	φ 250, 3DKN対応型	個	1					
計								

第 5号							1式当たり	仕訳表
労務費 DCIP (GX) φ 250								
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
鋳鉄管吊込み据付(機械力)	呼び径 2 5 0、施工条件(指数計 0)	m	65.7			水道P-51		
鋳鉄管切断のみ(全継手)	呼び径 2 5 0、エンジンカッター使用	口	14			第 36号代価表 水道P-90		
G X 形継手接合	呼び径 2 5 0、直管部	口	12			第 37号代価表 水道P-56		
G X 形継手接合	呼び径 2 5 0、異形管部	口	15			第 38号代価表 水道P-56		
G X 形継手接合	呼び径 2 5 0、G-L i n k を用いた異形管の接合	口	15			第 39号代価表 水道P-56		
フランジ継手 (J W W A 7.5 K)	呼び径 2 5 0、ボルト数 8 本	口	2			第 40号代価表 水道P-54		
鋳鉄製仕切弁設置(機械力、縦型)	呼び径 2 5 0 mm	基	6			第 41号代価表 水道P-96		
不断水割T字管設置工	φ 300 × φ 250 (DCIP用)	基	1			第 42号代価表		
仕切弁ボックス設置工	35型 H=1.20m	箇所	4			第 43号代価表		
仕切弁ボックス設置工	35型 H=0.65m, 0.85m	箇所	2			第 46号代価表 水道P-52		
メカニカル継手(特殊押輪を使用)	呼び径 2 5 0、施工条件(指数計 0)	口	2			第 47号代価表 水道P-52		
メカニカル継手(特殊押輪を使用)	呼び径 2 5 0、施工条件(指数計 0)	口	1			3DKN 第 48号代価表 水道P-60		
ポリエチレンスリーブ被覆工	呼び径 2 5 0、固定用ゴムバンドの場合	m	67.9			第 49号代価表		

第 5号							1式当たり	仕訳表
労務費								
DCIP (GX) φ 250								
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
管明示テープ工(天端明示無)	φ 2 5 0 × 5 m	m	67.9			水道P-63 第 50号代価表		
管明示シート工		m	65.7			水道P-64 第 15号代価表		
計								

第 6号							1式当たり	仕訳表
土工費 DCIP (GX) φ 250								
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断		アスファルト舗装版、15cm以下		m	141.6			R07IV-3-③ 施工P-01
		舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下						
舗装版直接掘削・積込、舗装厚10cm以下		山積0.28m3 (平積0.2)		m ²	62			水道P-166 第 18号代価表
バックホウ掘削積込		山積0.28m3 (平積0.20)		m3	94.9			水道P-161 第 19号代価表
発生土処理 (A s 塊、DIDあり)		4t車 (良好)、山積0.28m3積込、距離=15.2km		m3	3.4			水道P-176 第 20号代価表
発生土処理 (土砂、DIDあり)		4t車 (良好)、山積0.28m3積込、距離=6.5km		m3	51.6			水道P-176 第 21号代価表
土砂入替工		山砂		m3	28.9			第 22号代価表
土砂入替工		流用土		m3	43.3			第 24号代価表 水道P-169
下層路盤工		施工幅1.8m未満、施工厚=15cm、施工層数=1		m ²	62			第 25号代価表 水道P-169
上層路盤工		施工幅1.8m未満、施工厚=17cm、施工層数=2		m ²	62			第 26号代価表 水道P-179
アスファルト舗装工 (車道及び路肩)		1 層 当 り、t ≤50mm (t=30mm)、		m ²	62			※瀝青材 (P コ ー ト) 第 27号代価表
アルミ矢板土留工		矢板長2.0m (両側分)		m	59.4			第 28号代価表
アルミ矢板土留工		矢板長2.5m (両側分)		m	4.4			第 51号代価表

第 6号											1式当たり		仕訳表	
土工費														
DCIP (GX) φ 250														
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価		金 額		摘 要				
軽量金属製支保工		1段		m	59.4					第 31号代価表				
軽量金属製支保工		2段		m	4.4					第 54号代価表				
計														

第 6号仕訳表(施工P-01)

積算単位:m

標準単価:

舗装版切断／アスファルト舗装版、15cm以下

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K			15.05			
	K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式／切削深20cm級 フレート 径φ56cm	供/日	10.24		(15) 欄
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務 R			58.43			
	R 1	特殊作業員	人	19.96		
	R 2	土木一般世話役	人	10.88		
	R 3	普通作業員	人	8.92		
	R 4					
	R 5					
材料 Z			26.52			
	Z 1	コンクリートカッタ (フレート) 自走式切断機用／径18インチ	枚	22.39		
	Z 2	ガソリン／レギュラー	L	2.81		
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{10.24}{100} \times \frac{15.05}{10.24} \right) \times \frac{15.05}{10.24} \right. \\
 & + \left(\frac{19.96}{100} \times \frac{10.88}{10.88} + \frac{10.88}{100} \times \frac{8.92}{8.92} + \frac{8.92}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \right) \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \\
 & + \left(\frac{22.39}{100} \times \frac{2.81}{2.81} + \frac{2.81}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \right) \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \\
 & \left. + \frac{100-15.05-58.43-26.52}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

第 7号												1式当たり		仕訳表							
材料費																					
HIVP(TS) φ50																					
名		称		規		格		単	位	数		量		単	価	金	額	摘		要	
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP		HIVP 呼び径50 定尺4m		本		3												建物04月P. 690近畿③・積資04月P. 814近畿③			
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管継手		HIVP フラットソケット 50		個		2												建物04月P. 693全国③・積資04月P. 824近畿③			
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管継手		HIVP 50		個		8												建物04月P. 692全国③・積資04月P. 823近畿③			
計																					

第 8号							1式当たり	仕訳表
労務費 HIVP(TS) φ50								
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
硬質塩化ビニル管 据付工	呼び径 5 0	m	9.2			水道P-82 第 57号代価表		
硬質塩化ビニル管切断	呼び径 5 0	口	7			水道P-95 第 58号代価表		
硬質塩化ビニル管 T S継手工	呼び径 5 0	口	14			水道P-82 第 59号代価表		
管明示テープ工(天端明示無)	φ 5 0 以下	m	9.2			水道P-83 第 60号代価表		
管明示シート工		m	8			水道P-64 第 15号代価表		
計								

第 9号							1式当たり	仕訳表
土工費 HIVP(TS) φ50								
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断		アスファルト舗装版、15cm以下		m	16			R07IV-3-③ 施工P-01
		舗装版種別：アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚：15cm以下						
舗装版直接掘削・積込、舗装厚10cm以下		山積0.28m3(平積0.2)		m ²	4.8			水道P-166 第 18号代価表
バックホウ掘削積込		山積0.28m3(平積0.20)		m3	6.3			水道P-161 第 19号代価表
発生土処理(As塊、DIDあり)		4t車(良好)、山積0.28m3積込、距離=15.2km		m3	0.2			水道P-176 第 20号代価表
発生土処理(土砂、DIDあり)		4t車(良好)、山積0.28m3積込、距離=6.5km		m3	3			水道P-176 第 21号代価表
土砂入替工		山砂		m3	1.4			第 22号代価表
土砂入替工		流用土		m3	3.4			第 24号代価表 水道P-169
下層路盤工		施工幅1.8m未満、施工厚=15cm、施工層数=1		m ²	4.8			第 25号代価表 水道P-169
上層路盤工		施工幅1.8m未満、施工厚=17cm、施工層数=2		m ²	4.8			第 26号代価表 水道P-179
アスファルト舗装工(車道及び路肩)		1層当り、t ≤50mm(t=30mm)、		m ²	4.8			※瀝青材(Pコート) 第 27号代価表
計								

第 9号仕訳表(施工P-01)

積算単位:m

標準単価:

舗装版切断／アスファルト舗装版、15cm以下

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K			15.05			
	K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式／切削深20cm級 フレート 径φ56cm	供/日	10.24		(15) 欄
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務 R			58.43			
	R 1	特殊作業員	人	19.96		
	R 2	土木一般世話役	人	10.88		
	R 3	普通作業員	人	8.92		
	R 4					
	R 5					
材料 Z			26.52			
	Z 1	コンクリートカッタ (フレート) 自走式切断機用／径18インチ	枚	22.39		
	Z 2	ガソリン／レギュラー	L	2.81		
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場 S						

$$\begin{aligned}
 P' = & \\
 & \times \left\{ \left(\frac{10.24}{100} \times \frac{15.05}{10.24} \right) \times \frac{15.05}{10.24} \right. \\
 & + \left(\frac{19.96}{100} \times \frac{10.88}{10.88} + \frac{10.88}{100} \times \frac{8.92}{8.92} + \frac{8.92}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \right) \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \\
 & + \left(\frac{22.39}{100} \times \frac{2.81}{2.81} + \frac{2.81}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \right) \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \\
 & \left. + \frac{100-15.05-58.43-26.52}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

第 10号							1式当たり	仕訳表
材料費 給水								
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
サドル分水栓 DCIP用(密着コア含む)	本管250分岐20、ホース式 JWWA B 117, A形 防食フ	個	3					
フレキシブル継手 ユニオンナット×オネジ フレキシブル継手(袋ナ)	φ20×500L	個	3					
カイトナット	φ20	個	3					
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩ビ管継手	HIソケット 20	個	3			建物04月P. 692全国③・積資04月P. 822近畿③		
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩ビ管継手	HIユニオンソケット 20	個	3			建物04月P. 693全国③・積資04月P. 824近畿③		
計								

第 11号											1式当たり		仕訳表	
労務費 給水														
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額		摘 要					
サドル分水栓建込み		給水管20mm× 鋳鉄管250mm		箇所	3				水道P-190 第 61号代価表					
コア取付け工		呼び径 2 0 mm		箇所	3				水道P-190 第 62号代価表					
硬質塩化ビニル管 T S継手工		呼び径 2 0		口	6				水道P-82 第 63号代価表					
計														

第 12号							1式当たり	仕訳表
土工費 給水								
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断		アスファルト舗装版、15cm以下	m	6				R07IV-3-③ 施工P-01
		舗装版種別：アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚：15cm以下						
舗装版直接掘削・積込、舗装厚10cm以下		山積0.28m3(平積0.2)	m ²	1.8				水道P-166 第 18号代価表
バックホウ掘削積込		山積0.28m3(平積0.20)	m3	2.4				水道P-161 第 19号代価表
発生土処理(A s 塊、DIDあり)		4t車(良好)、山積0.28m3積込、距離=15.2km	m3	0.1				水道P-176 第 20号代価表
発生土処理(土砂、DIDあり)		4t車(良好)、山積0.28m3積込、距離=6.5km	m3	1.1				水道P-176 第 21号代価表
土砂入替工		山砂	m3	0.5				第 22号代価表
土砂入替工		流用土	m3	1.3				第 24号代価表 水道P-169
下層路盤工		施工幅1.8m未満、施工厚=15cm、施工層数=1	m ²	1.8				第 25号代価表 水道P-169
上層路盤工		施工幅1.8m未満、施工厚=17cm、施工層数=2	m ²	1.8				第 26号代価表 水道P-179
アスファルト舗装工(車道及び路肩)		1層当り、t ≤50mm(t=30mm)、	m ²	1.8				※瀝青材(Pコート) 第 27号代価表
計								

第 12号仕訳表(施工P-01)

積算単位:m

標準単価:

舗装版切断／アスファルト舗装版、15cm以下

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K			15.05			
	K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式／切削深20cm級 フレート 径φ56cm	供/日	10.24		(15) 欄
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務 R			58.43			
	R 1	特殊作業員	人	19.96		
	R 2	土木一般世話役	人	10.88		
	R 3	普通作業員	人	8.92		
	R 4					
	R 5					
材料 Z			26.52			
	Z 1	コンクリートカッタ (フレート) 自走式切断機用／径18インチ	枚	22.39		
	Z 2	ガソリン／レギュラー	L	2.81		
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{10.24}{100} \times \frac{15.05}{10.24} \right) \times \frac{15.05}{10.24} \right. \\
 & + \left(\frac{19.96}{100} \times \frac{10.88}{10.88} + \frac{10.88}{100} \times \frac{8.92}{8.92} + \frac{8.92}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \right) \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \\
 & + \left(\frac{22.39}{100} \times \frac{2.81}{2.81} + \frac{2.81}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \right) \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \\
 & \left. + \frac{100-15.05-58.43-26.52}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

第 13号							1式当たり	仕訳表
土工費 試掘								
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断		アスファルト舗装版、15cm以下		m	6			R07IV-3-③ 施工P-01
		舗装版種別：アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚：15cm以下						
舗装版直接掘削・積込、舗装厚10cm以下		山積0.28m3(平積0.2)		m ²	2.3			水道P-166 第 18号代価表
バックホウ掘削積込		山積0.28m3(平積0.20)		m3	1.8			水道P-161 第 19号代価表
発生土処理(A s 塊、DIDあり)		4t車(良好)、山積0.28m3積込、距離=15.2km		m3	0.1			水道P-176 第 20号代価表
発生土処理(土砂、DIDあり)		4t車(良好)、山積0.28m3積込、距離=6.5km		m3	1			水道P-176 第 21号代価表
土砂入替工		山砂		m3	0.3			第 22号代価表
土砂入替工		流用土		m3	0.8			第 24号代価表 水道P-169
下層路盤工		施工幅1.8m未満、施工厚=15cm、施工層数=1		m ²	2.3			第 25号代価表 水道P-169
上層路盤工		施工幅1.8m未満、施工厚=17cm、施工層数=2		m ²	2.3			第 26号代価表 水道P-179
アスファルト舗装工(車道及び路肩)		1層当り、t ≤50mm(t=30mm)、		m ²	2.3			※瀝青材(Pコート) 第 27号代価表
計								

第 13号仕訳表(施工P-01)

積算単位:m

標準単価:

舗装版切断／アスファルト舗装版、15cm以下

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称		規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K				15.05			
	K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式／切削深20cm級 フレート 径φ56cm	供/日	10.24			(15) 欄
	K 2						
	K 3						
	K 4						
	K 5						
労務 R				58.43			
	R 1	特殊作業員	人	19.96			
	R 2	土木一般世話役	人	10.88			
	R 3	普通作業員	人	8.92			
	R 4						
	R 5						
材料 Z				26.52			
	Z 1	コンクリートカッタ (フレート) 自走式切断機用／径18インチ	枚	22.39			
	Z 2	ガソリン／レギュラー	L	2.81			
	Z 3						
	Z 4						
	Z 5						
市場 S							

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{10.24}{100} \times \frac{15.05}{10.24} \right) \times \frac{15.05}{10.24} \right. \\
 & + \left(\frac{19.96}{100} \times \frac{10.88}{100} \times \frac{8.92}{100} \right) \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \\
 & + \left(\frac{22.39}{100} \times \frac{2.81}{100} \right) \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \\
 & \left. + \frac{100-15.05-58.43-26.52}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

[illegible]

第 3号

10m当たり

代価表

鋳鉄管吊込み据付(機械力)

呼び径 3 0 0、施工条件(指数計 0)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック運転費 (クレーン装置付)	4 t 積 2. 9 t 吊	hr	1. 54			機- 1
諸雑費		式	1			
計						
1 m当たり						

第 4号

1口当たり

代価表

メカニカル継手(特殊押輪を使用)
呼び径 3 0 0、施工条件(指数計 0)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			労務費×1%
計						

第 5号

1口当たり

代価表

メカニカル継手(特殊押輪を使用)

呼び径 300、施工条件(指数計 0)

[illegible]

第 6号

1口当たり

代価表

メカニカル継手(耐震型補強金具を使用)
呼び径 3 0 0、施工条件(指数計 0)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			労務費×1%
計						

[illegible]

第 8号

1個当たり

代価表

鉄蓋設置

円形 2号 350mm

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
計						

第 9号							1箇所当たり
切換弁ボックス設置工							代価表
35型 H=0.85m							
名	称	規	格	単	位	数	量
鉄蓋設置		円形 2 号 350mm		個	1		水道P-100
レジンコンクリート製ボックス設置		円形 2 号 調整リング 350×50mm		個	1		第 8号代価表 水道P-101
レジンコンクリート製ボックス設置		円形 2 号 下部壁 350×300mm		個	1		第 10号代価表 水道P-101
レジンコンクリート製ボックス設置		円形 2 号 底版 350×40mm		個	1		第 11号代価表 水道P-101
計							第 12号代価表

第 10号

1個当たり

代価表	
1	100
2	200
3	300
4	400
5	500
6	600
7	700
8	800
9	900
10	1000

レジンコンクリート製ボックス設置

円形 2号 調整リング 350×50mm

[illegible]

第 11号

1個当たり

代価表

レジンコンクリート製ボックス設置

円形 2 号 下部壁 350×300mm

[illegible]

第 12号

1個当たり

代価表

レジンコンクリート製ボックス設置

円形 2号 底版 350×40mm

[illegible]

第 13号							100m当たり	代価表
ポリエチレンスリーブ被覆工 呼び径 3 0 0、固定用ゴムバンドの場合								
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員				人				
普通作業員				人				
ポリエチレンスリーブ				m	116.7			#
固定用ゴムバンド				組	150			#
諸雑費				式	1			
計								
1 m当たり								

第 14号	100m当たり	代価表
-------	---------	-----

100m当たり 代価表

代価表	
-----	--

管明示テープ工(天端明示無)

$\phi 300 \times 6 \text{ m}$

[illegible]

第 15号

100m当たり

代価表

管明示シート工

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
エコセフティライン	幅150mm, 折りたたみ, 再生率40%以上	m	100			
諸雑費		式	1			
計						
1 m当たり						

第 16号

10m当たり

代価表

鋳鉄管 撤去管吊上げ積込み(機械力)

呼び径 300

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック運転費 (クレーン装置付)	4 t 積 2.9 t 吊	hr	0.924			機-1
諸雑費		式	1			
計						
1 m当たり						

第 17号

1口当たり

代価表

ダクティル鋳鉄管(FCD)撤去管切断
呼び径300、エンジンカッター使用

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
エンジンカッター(ダイヤモンドプレート)損料		日				
諸雑費		式	1			労務費×30%
計						

第 18号

100㎡当たり

代価表

舗装版直接掘削・積込、舗装厚10cm以下
山積0.28m³(平積0.2)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転費	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	時間	3.35			※排対型(第2次基準) 水道P-168
諸雑費		式	1			
計						
1㎡当たり						

第 19号

100m3当たり

代価表

バックホウ掘削積込

山積0.28m3(平積0.20)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転費	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2m3)	時間	11.1			※排対型(第2次基準) 水道P-161
諸雑費		式	1			
計						
1 m3当たり						

第 20号

10m3当たり

代価表

発生土処理(A s 塊、DIDあり)

4t車(良好)、山積0.28m3積込、距離=15.2km

名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
ダンプトラック運転費		4 t 積、タイヤ損耗費(良好)		日		1.43						水道P-176	
アスファルト塊(掘削)		(株)藤田産業 3038-1		t		23.5						昼間	
計													
1 m3当たり													

[illegible]

第 22号							1m3当たり	代価表
土砂入替工 山砂								
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
管路埋戻(機械埋戻・バックホウ)	山積0.28m3(平積0.2)	m3	1			水道P-163 第 23号代価表		
山砂(サントクッション用)	真砂 フィ通過百分率10%以下	m3	1			宇治市・城陽市・久世郡・八幡市・京田辺市・井手町		
計								

第 23号

100m3当たり

代価表

管路埋戻(機械埋戻・バックホウ)

山積0.28m3(平積0.2)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転費	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2m3)	時間	7.6			※排対型(第2次基準) 水道P-165
普通作業員		人				
タンパ運転費	60～80kg	日	3			水道P-165
諸雑費		式	1			
計						
1m3当たり						

[illegible]

第 25号

100㎡当たり

代価表

下層路盤工

施工幅1.8m未満、施工厚=15cm、施工層数=1

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
再生クラッシャー	RC-40	m3	19.05			宇治市・城陽市・久世郡・八幡市・京田辺市・井手町
タンパ運転費	60～80kg	日	0.45			水道P-170
諸雑費		式	1			
計						
1㎡当たり						

第 26号

100㎡当たり

代価表

上層路盤工

施工幅1.8m未満、施工厚=17cm、施工層数=2

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
再生粒度調整碎石	RM-30	m3	21.59			宇治市・城陽市・久世郡・八幡市・京田辺市・井手町
タンパ運転費	60～80kg	日	0.9			水道P-170
諸雑費		式	1			
計						
1㎡当たり						

第 27号

100㎡当たり

代価表

アスファルト舗装工(車道及び路肩)

1層当り、t ≤ 50mm (t=30mm)、

※瀝青材(Pコート)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
再生密粒度7スコン	(13)	t	7.544			宇治市・城陽市・久世郡・八幡市・京田辺市
7スコン乳剤	PK-3 フライムコート用	L	126			
振動ローラ運転費	ハンドガイド式 質量0.5～0.6 t	日	0.4			水道P-179
振動コンパクタ運転費	質量40～60 kg	日	0.8			水道P-179
諸雑費		式	1			(労務費+機械運転経費) × 17%
計						
1㎡当たり						

第 28号											1m当たり		代価表	
アルミ矢板土留工 矢板長2.0m(両側分)														
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価		金 額		摘 要				
アルミ矢板建込工(両側分)		掘削深 2.0m以下、山積0.28m3		m	1					A-1-32 D-13-1 第 29号代価表				
アルミ矢板引抜工(両側分)		掘削深 2.0m以下、トラックレン4.9t吊		m	1					A-1-32 D-13-2 第 30号代価表				
計														

第 29号

100m当たり

代価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深 2.0m以下、山積0.28m3

A-1-32

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転費	山積0.28m3(平0.20)、排ガス対策型(2次基準)	hr	9.4			A-1-6
諸雑費		式	1			
計						
1 m当たり						

第 30号

100m当たり

代価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深 2.0m以下、トラッククレーン4.9t吊

A-1-32

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型)賃料	4.9t吊	日				
諸雑費		式	1			
計						
1 m当たり						

第 31号											1m当たり	代価表
軽量金属製支保工												
1段												
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額		摘 要			
軽量金属腹起し材設置・撤去		1 段、掘削深2.0m以下		m	1				水道P-49 第 32号代価表			
水圧式パイプサポート切梁材設置・撤去		1 段、掘削深2.0m以下		m	1				水道P-49 第 33号代価表			
計												

第 32号

100m当たり

代価表

軽量金属腹起し材設置・撤去
1 段、掘削深2.0m以下

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
普通作業員		人				
計						
1 m当たり						

第 33号

100m当たり

代価表

水圧式パイプサポート切梁材設置・撤去
1段、掘削深2.0m以下

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
普通作業員		人				
計						
1 m当たり						

第 34号							
仕切弁ボックス							1組当たり
35型 H=1.2m							代価表
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額
ホックス 35型		円形2号鉄蓋 H=150、口径、水流方向表示付カラーリング付		個	1		
ホックス 35型		調整リング RB35 (K) H=50		個	1		
ホックス 35型		上部壁RB35 (A) H=150		個	1		
ホックス 35型		中部壁RB35 (B) H=300		個	1		
ホックス 35型		下部壁RB35 (C) H=300		個	1		
ホックス 35型		底板RB35 (P) H=40		個	1		
計							

第 35号											1組当たり		代価表	
仕切弁ボックス														
35型 H=0. 65m, 0. 85m														
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要						
ホッ克斯 35型		円形2号鉄蓋 H=150, 口径、水流方向表示付カラーリング付		個	1									
ホッ克斯 35型		調整リング RB35 (K) H=50		個	1									
ホッ克斯 35型		下部壁RB35 (AC) H=300		個	1									
ホッ克斯 35型		底版RB35 (P) H=40		個	1									
計														

第 36号

10m当たり

代価表

鋳鉄管吊込み据付(機械力)

呼び径 2 5 0、施工条件(指数計 0)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック運転費(クレーン装置付)	4 t 積 2. 9 t 吊	hr	1. 47			機- 1
諸雑費		式	1			
計						
1 m当たり						

第 37号

1口当たり

代価表

鋳鉄管切断のみ(全継手)
呼び径 2 5 0、エンジンカッター使用

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
エンジンカッター(ダイヤモンドプレート) 損料		日				
諸雑費		式	1			労務費×30%
計						

第 38号

1口当たり

代価表

G X 形継手接合
呼び径 2 5 0、直管部

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			労務費×1%
計						

第 39号

1口当たり

代価表

G X 形継手接合
呼び径 2 5 0、異形管部

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			労務費×1%
計						

第 40号

1口当たり

代価表

G X 形継手接合

呼び径 2 5 0、G-L i n kを用いた異形管の接合

名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員				人				
普通作業員				人				
諸雑費				式	1			労務費×1%
計								

代価表

呼び径 250 mm

[illegible]

第 43号							1箇所当たり	代価表
仕切弁ボックス設置工 35型 H=1.20m								
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄蓋設置		円形 2 号	350mm	個	1			水道P-100 第 8号代価表
レジンコンクリート製ボックス設置		円形 2 号	調整リング 350×50mm	個	1			水道P-101 第 10号代価表
レジンコンクリート製ボックス設置		円形 2 号	上部壁 350×150mm	個	1			水道P-101 第 44号代価表
レジンコンクリート製ボックス設置		円形 2 号	中部壁 350×300mm	個	1			水道P-101 第 45号代価表
レジンコンクリート製ボックス設置		円形 2 号	下部壁 350×300mm	個	1			水道P-101 第 11号代価表
レジンコンクリート製ボックス設置		円形 2 号	底版 350×40mm	個	1			水道P-101 第 12号代価表
計								

第 45号

1個当たり

代価表

レジンコンクリート製ボックス設置

円形 2号 中部壁 350×300mm

[illegible]

[illegible]

第 48号

1口当たり

代価表

メカニカル継手(特殊押輪を使用)

呼び径 2 5 0、施工条件(指数計 0)

名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
特殊作業員				人									
普通作業員				人									
諸雑費				式		1						労務費×1%	
計													

第 49号							100m当たり	代価表
ポリエチレンスリーブ被覆工 呼び径 2 5 0、固定用ゴムバンドの場合								
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員				人				
普通作業員				人				
ポリエチレンスリーブ				m	120			#
固定用ゴムバンド				組	160			#
諸雑費				式	1			
計								
1 m当たり								

[illegible]

第 52号

100m当たり

代価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深 2.5m以下、山積0.28m3

A-1-32

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転費	山積0.28m3(平0.20)、排ガス対策型(2次基準)	hr	10.5			A-1-6
諸雑費		式	1			
計						
1 m当たり						

第 53号

100m当たり

代価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深 2.5m以下、トラッククレーン4.9t吊

A-1-32

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型)賃料	4.9t吊	日				
諸雑費		式	1			
計						
1 m当たり						

第 54号											1m当たり		代価表	
軽量金属製支保工 2段														
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額		摘 要					
軽量金属腹起し材設置・撤去		2 段、掘削深3.5m以下		m	1				水道P-49 第 55号代価表					
水圧式パイプサポート切梁材設置・撤去		2 段、掘削深3.5m以下		m	1				水道P-49 第 56号代価表					
計														

第 55号				100m当たり				代価表	
軽量金属腹起し材設置・撤去									
2 段、掘削深3. 5m以下									
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役				人					
土木一般世話役				人					
特殊作業員				人					
特殊作業員				人					
普通作業員				人					
普通作業員				人					
計									
1 m当たり									

第 56号				100m当たり				代価表	
水圧式パイプサポート切梁材設置・撤去									
2 段、掘削深3. 5m以下									
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役				人					
土木一般世話役				人					
特殊作業員				人					
特殊作業員				人					
普通作業員				人					
普通作業員				人					
計									
1 m当たり									

第 57号 10m当たり 代価表

10m当たり 代価表

代価表

硬質塩化ビニル管 据付工

呼び径 50

[illegible]

第 58号

1口当たり

代価表

硬質塩化ビニル管切断
呼び径 5 0

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			労務費×1%
計						

第 59号

1口当たり

代価表

硬質塩化ビニル管 T S 継手工
呼び径 5 0

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			労務費×1%
計						

第 61号

1箇所当たり

代価表

サドル分水栓建込み

給水管20mm× 鋳鉄管250mm

名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
特殊作業員				人									
普通作業員				人									
諸雑費				式		1						労務費×12%	
計													

第 62号

1箇所当たり

代価表

コア取付け工
呼び径 2 0 mm

名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
特殊作業員				人									
普通作業員				人									
諸雑費				式		1						労務費×1%	
計													

第 63号

1口当たり

代価表

硬質塩化ビニル管 T S 継手工
呼び径 2 0

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			労務費×1%
計						

【積算参考資料】

本積算参考資料は、あくまで発注者が予定価格を算出する際の積算条件を参考までに示した資料であり、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。

(1) 本工事の積算で採用した見積単価は、「別紙1」のとおり。

(2) 本工事の積算で採用した歩掛は、「別紙2」のとおり。

(3) その他、積算条件等は、「別紙3」のとおり。

(積算参考資料「別紙１」)

本工事の積算で採用した見積単価

名称	規格	単位	単価
ポリエチレンスリーブ	呼び径300	m	1,200
固定用ゴムバンド	呼び径300	組	1,060
ポリエチレンスリーブ	呼び径250	m	1,025
固定用ゴムバンド	呼び径250	組	940
ポリエチレン製管路巻付テープ	幅50mm	m	175
エコセフティライン	幅150mm, 折りたたみ, 再生率40%以上	m	526
アルミ矢板賃料		式	86,880
ボックス 35型	円形2号鉄蓋 H=150, 口径、水流方向表示付カラーリング付	個	75,060
ボックス 35型	調整リング RB35 (K) H=50	個	11,500
ボックス 35型	上部壁RB35 (A) H=150	個	21,900
ボックス 35型	中部壁RB35 (B) H=300	個	16,500
ボックス 35型	下部壁RB35 (C) H=300	個	23,900
ボックス 35型	下部壁RB35 (AC) H=300	個	38,300
ボックス 35型	底版RB35 (P) H=40	個	21,900
※2 鋳鉄管処分費(スクラップ)	鉄屑 H1	t	-35,000
エンジンカッター(ダイヤモンドブレード) 損料		日	607
※1 切替弁設置工	φ300	箇所	1,320,000
※1 ストッパー設置工	φ300	箇所	789,000
※1 不断水割T字管設置工	φ300×φ250 (DCIP用)	基	418,000
離脱防止特殊押輪	φ300, 3DKN対応型	個	52,590
継手補強金具 (K形用離脱防止金具)	φ300	組	260,490
切替弁 (受口K形90° タイプ)	φ300 (DCIP用)	基	3,663,000
浅埋対応型ストッパー	φ300 (DCIP用)	基	2,092,160
浅埋形メタルシート仕切弁 (F形)	φ250	基	459,300
不断水割T字管 (F型)	φ300×φ250 (DCIP用)	基	643,680
フランジ継手材 (7.5K GF) LSPフランジパッキン	φ250	組	117,000
サドル分水栓 DCIP用 (密着コ含む)	本管250分岐20, ホール式 JWWA B 117, A形 防食フィルム付	個	51,100
K形マハ帽 特押セット価格 メカカルジョイント形帽	φ250, FCD製離脱防止押輪付	個	103,830
K形マハ帽 特押セット価格 メカカルジョイント形帽	φ300, FCD製離脱防止押輪付	個	134,920
離脱防止特殊押輪	φ250, 3DKN対応型	個	45,490
フレキシブル継手 エンハナット×オメガ フレキシブル継手 (袋ナット×平行おねじ)	φ20×500L	個	15,160
ガイトナット	φ20	個	1,570
GX形 メタルシート仕切弁 (両受型)	φ250 内外面粉体塗装	基	806,100

※1 切替弁設置工、ストッパー設置工、不断水割T字管設置工は、全ての間接工事費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費等）の対象にしない。

※2 鋳鉄管処分費(スクラップ)は、マイナス単価を計上し、全ての間接工事費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費等）の対象にしない。

（積算参考資料「別紙２」）

本工事の積算で採用した歩掛

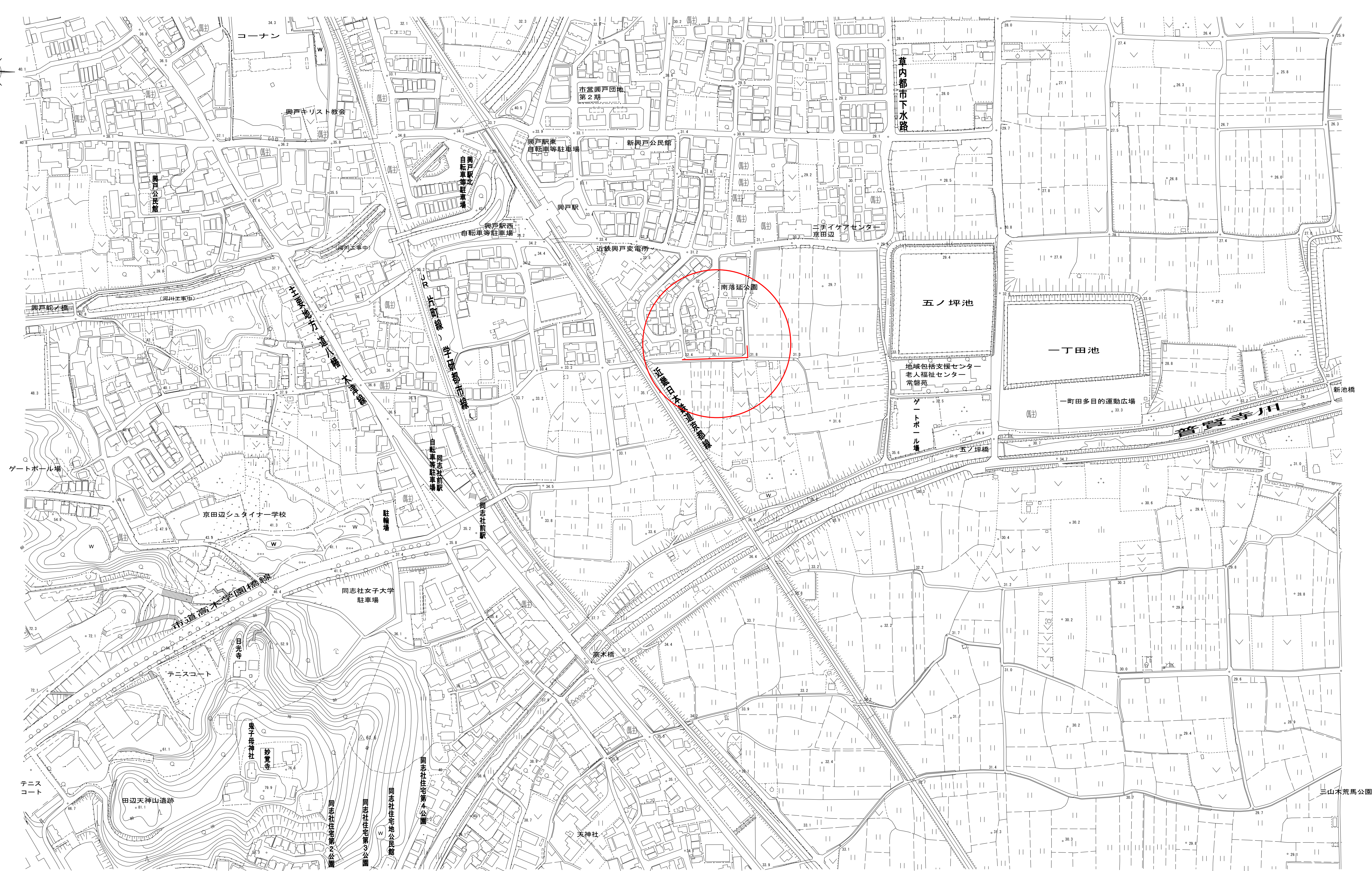
金抜き設計書の摘要欄にあるA－〇－〇は本工事の積算で使用了「下水道用設計標準歩掛表-令和7年度-公益社団法人 日本下水道協会」の頁を記載している。

(積算参考資料「別紙3」)

1) 運搬距離表

拠点	単位	採用単価 (円)	運搬距離 (km)	備考
(財)城陽山砂利採取地整備公社	m ³	2,363	6.5	建設発生土
(株)藤田産業	t	1,200	15.2	アスファルト塊 (掘削)

位置図 S=1/2000

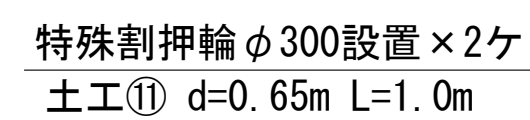


工事名	令和8年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う 配水管支障移設工事		
工事箇所	京田辺市 興戸 地内		
図面種別	位置図	設計	
縮尺	1/2000	製図	
図番	1/9	整理番号	
京田辺市上下水道部			

S=1:125



S=1 : 125

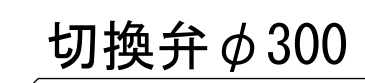


工事名	令和8年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う 配水管支障移設工事		
工事箇所	京田辺市 興戸 地内		
図面種別	本設配管平面図	設計	
縮尺	1/125	製図	
図番	2/9	整理番号	



京田辺市上下水道部

ハイツ
エスペランサー



④

(30. 97)

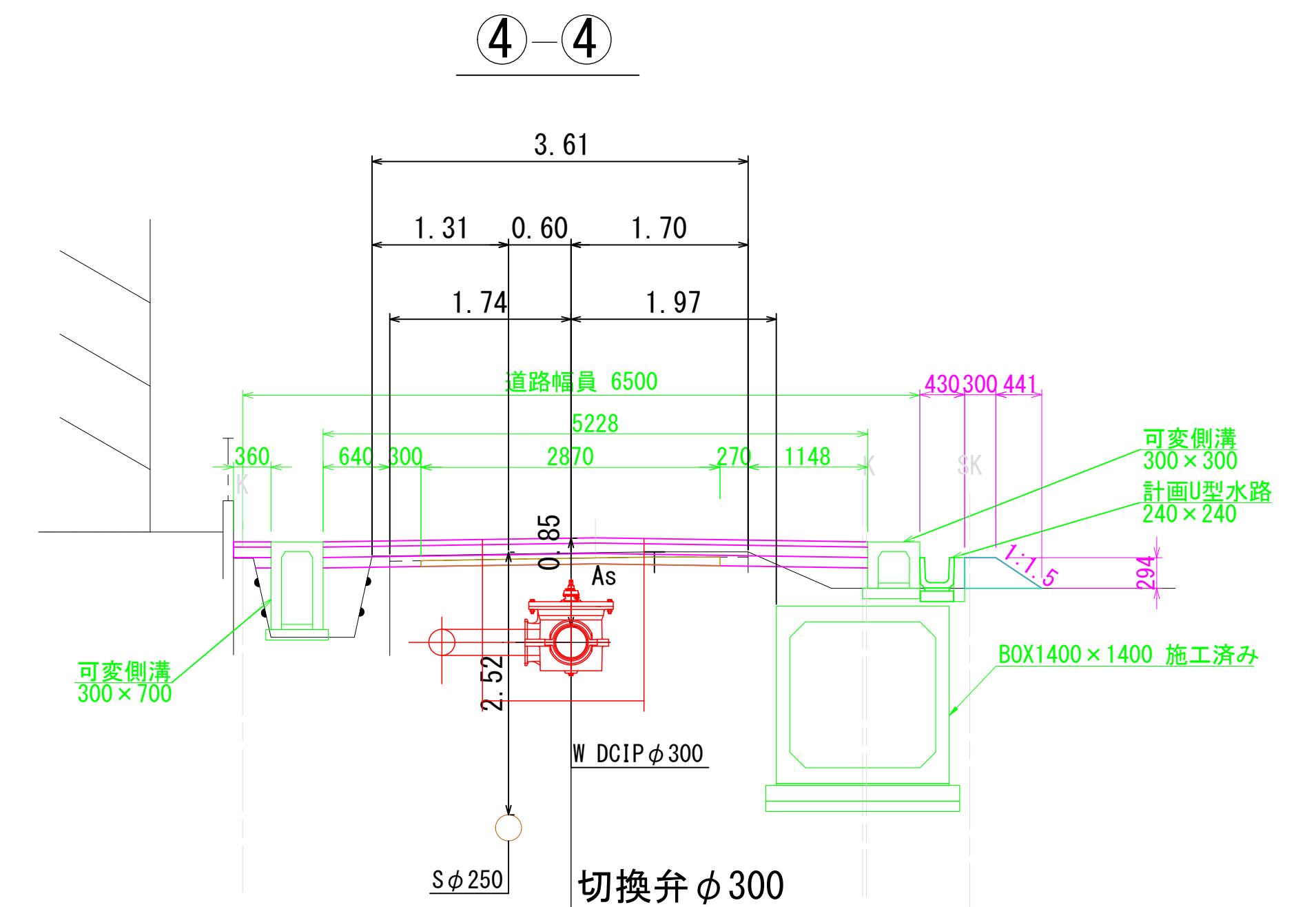
31. 15

(31.37)

31.45

S13測点

IP. 5

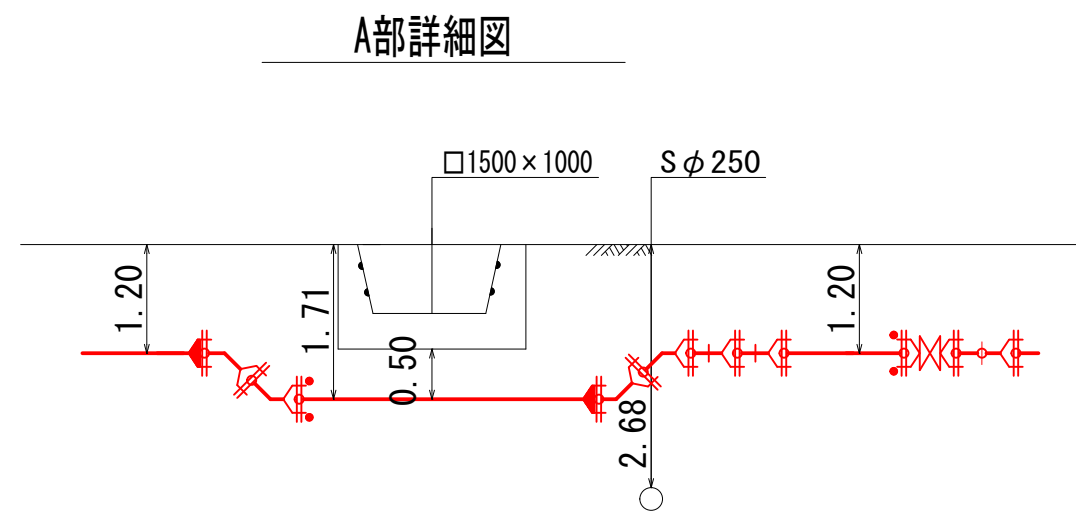


工事名	令和 8 年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う 配水管支障移設工事		
工事箇所	京田辺市 興戸 地内		
図面種別	A 詳細図	設計	
縮尺	S=1/50	製図	
図番	3／9	整理番号	



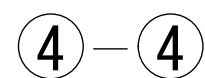
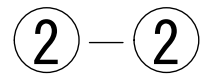
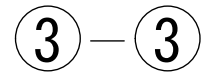
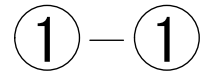
京田辺市上下水道部

S=NO SCALE

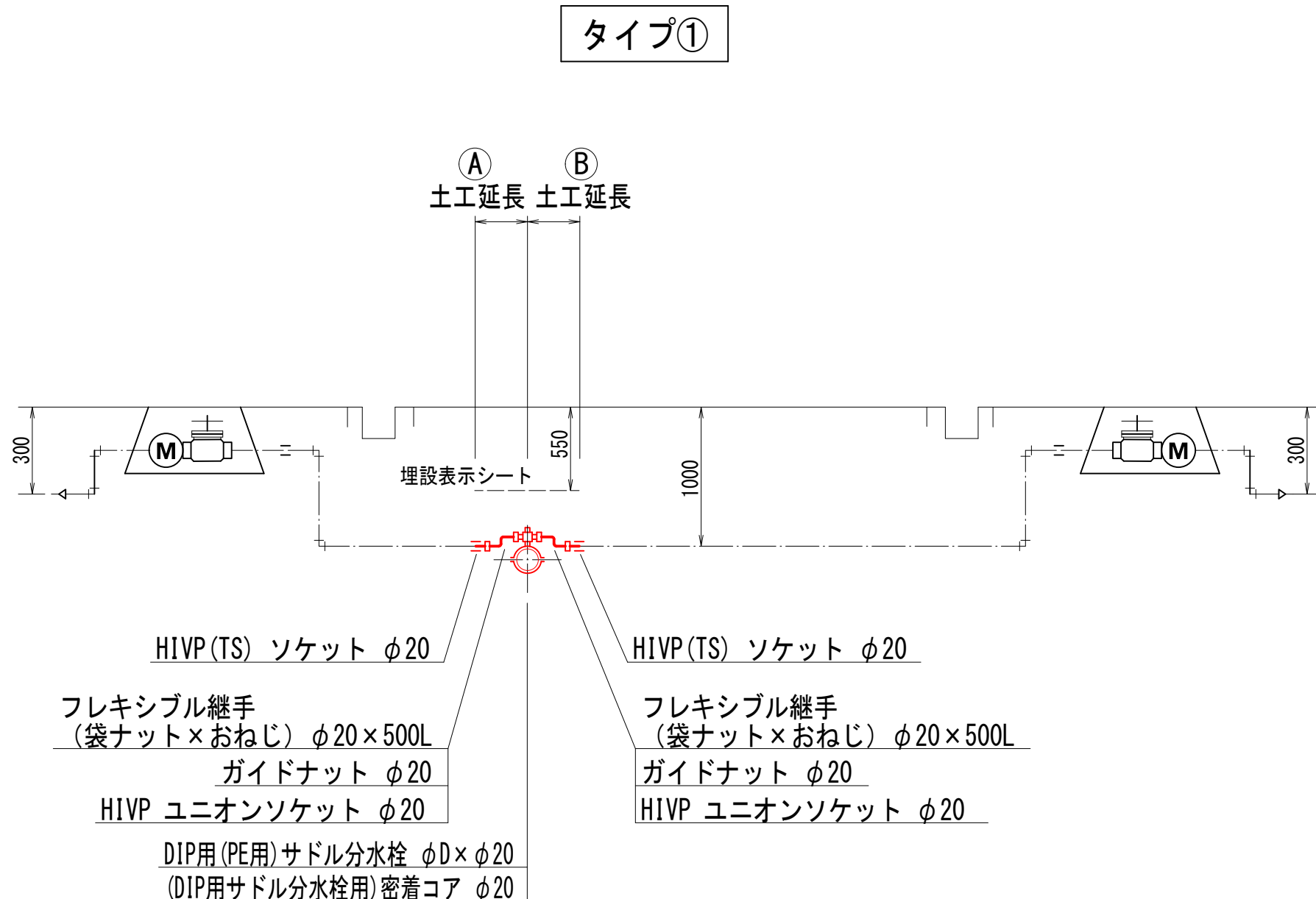


工事名	令和 8 年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う 配水管支障移設工事	
工事箇所	京田辺市 興戸 地内	
図面種別	本設配管詳細図	設計
縮尺	NO SCALE	製図
図番	4/9	整理番号
 京田辺市上下水道部		

S=1 : 50



本設給水標準図 S=NO SCALE



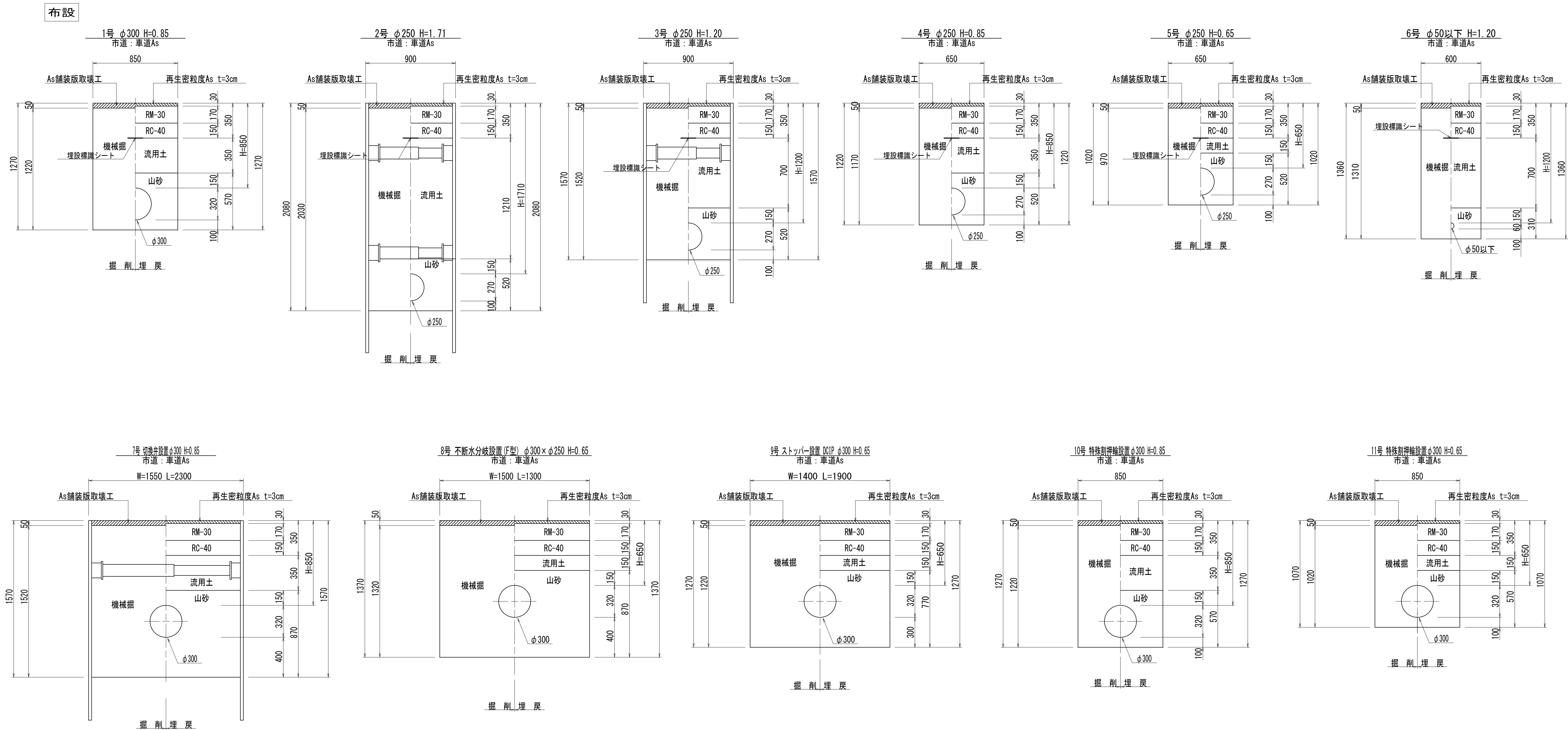
本設給水材料表

戸番	氏 名	口径	タイプ	サドル分水栓		密着コア	フレキシブル継手 (袋ナット×おねじ)	ガイドナット	H1VP (TS) ソケット			ユニオンソケット			管 延 長		土 工	
				DIP用					φ20 × φ20	φ20 × 500L	φ20	φ20	φ20	φ20	φ20	φ20	⑥	
1	竹村	φ20	タイプ1-A	1		φ20	φ20 × 500L		φ20		φ20		φ20		φ20		⑥	1.0
2	桐山	φ20	タイプ1-A	1		1	1		1		1		1				1.0	
3	ハイツエスベランサー	φ20	タイプ1-A	1		1	1		1		1		1				1.0	
			φ20	タイプA 3														
計				3		3	3		3		3		3				3.0	

工事名	令和 8 年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う 配水管支障移設工事		
工事箇所	京田辺市 興戸 地内		
図面種別	本設給水標準図	設計	
縮尺	NO SCALE	製図	
図番	6/9	整理番号	

 京田辺市上下水道部

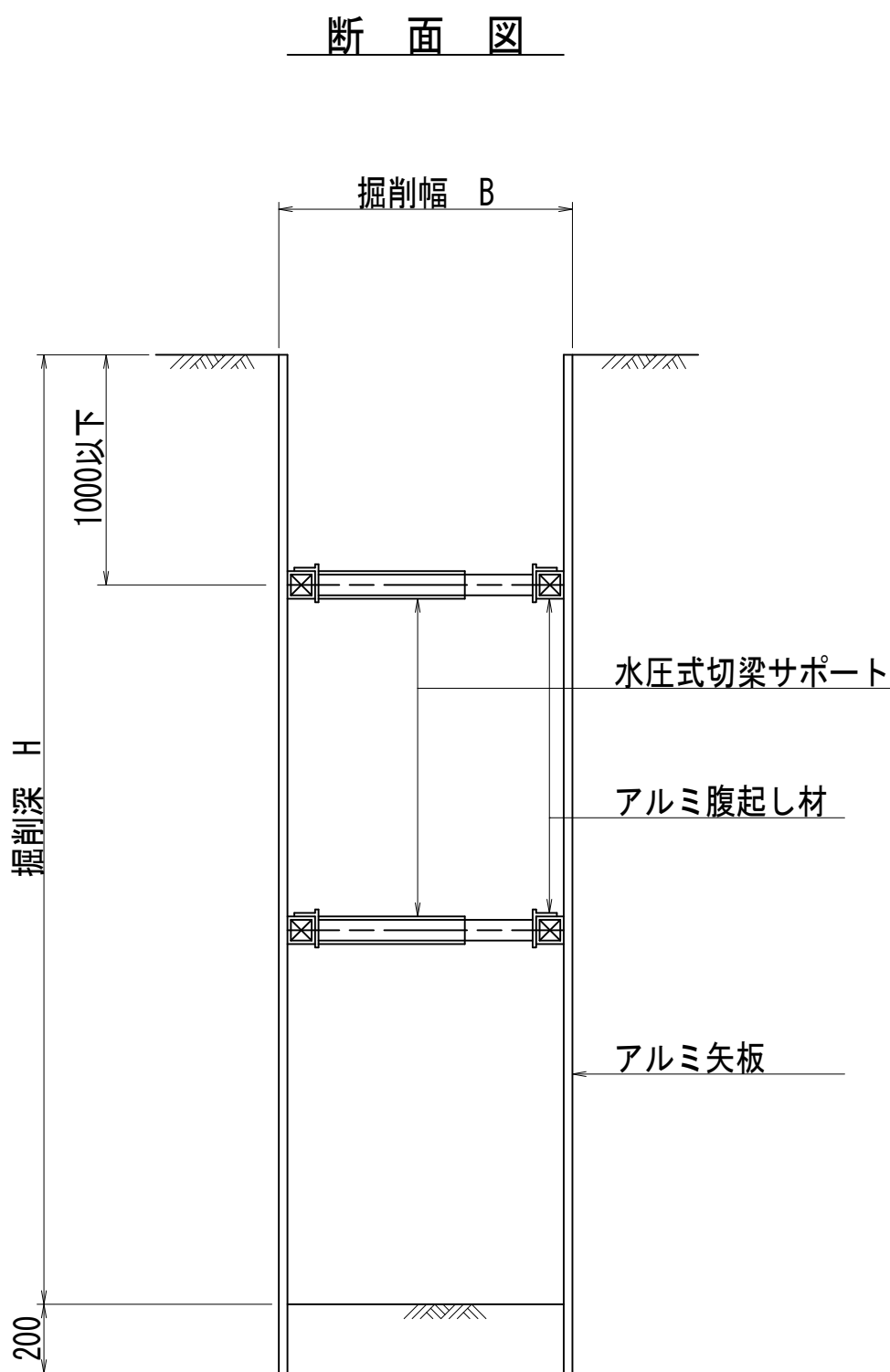
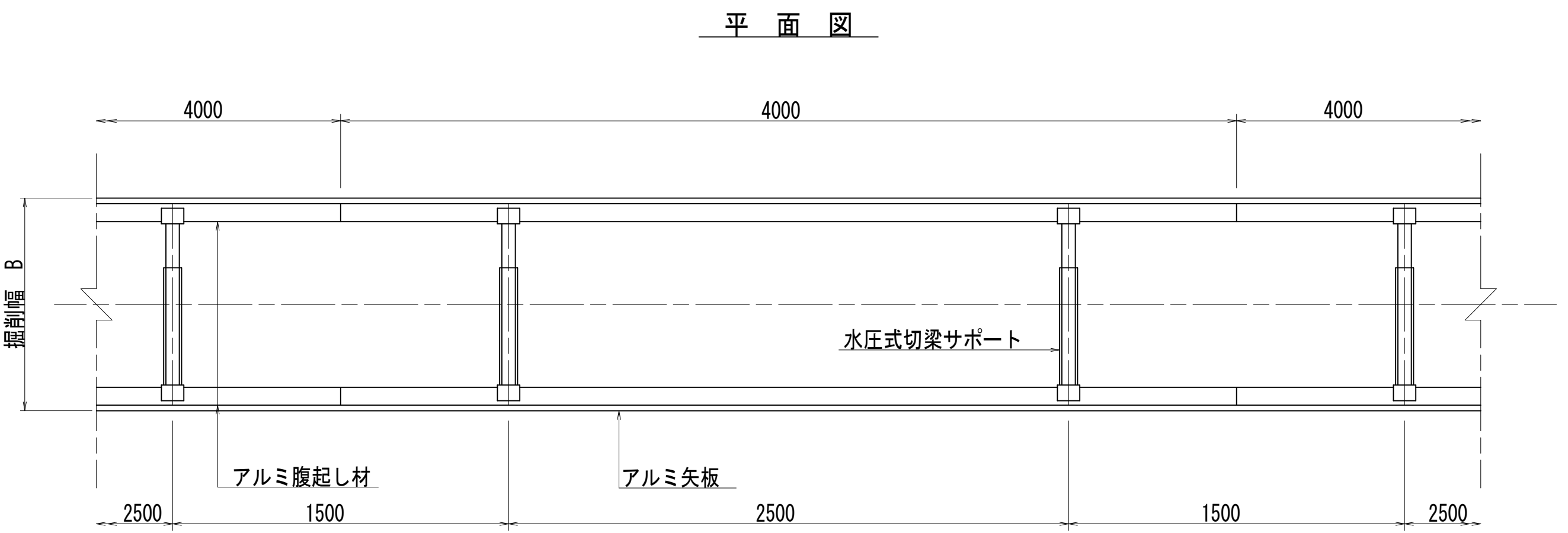
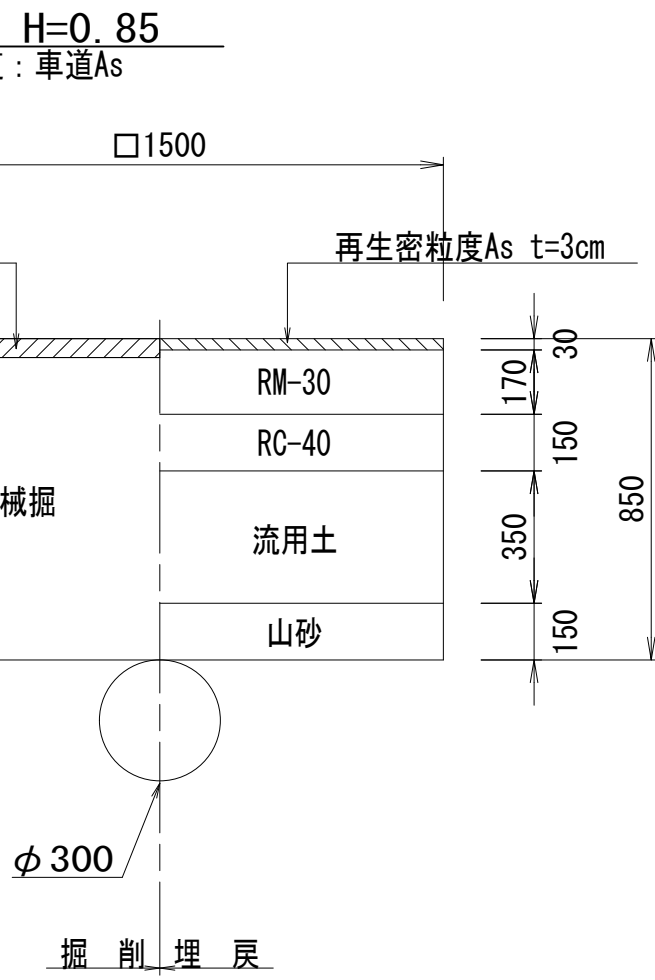
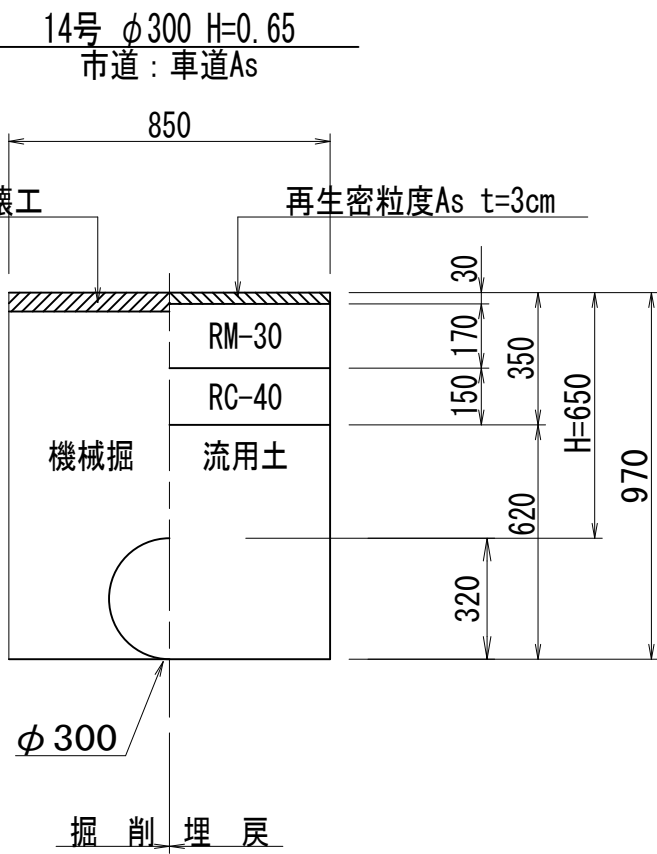
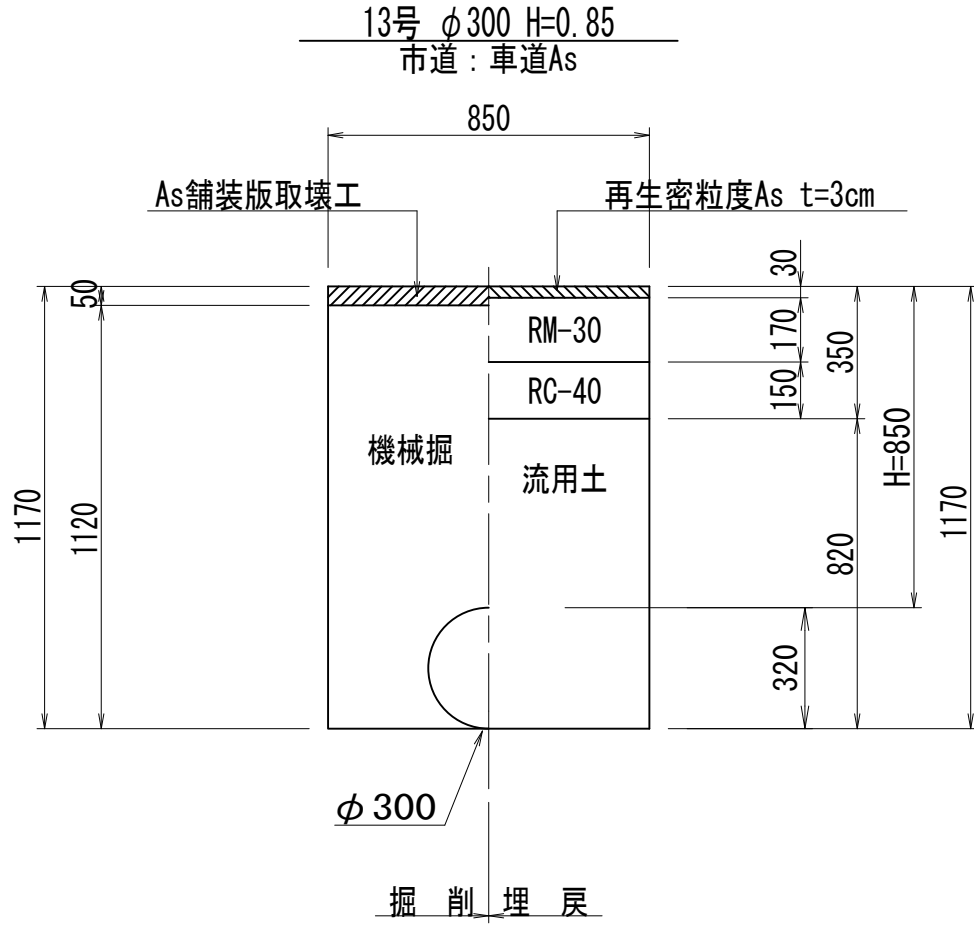
本設土工標準図(1) S=1/20



工事名	令和8年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う 配水管支障移設工事		
工事箇所	京田辺市 興戸 地内		
図面種別	本設土工標準図(1)	設計	
縮尺	1/20	製図	
図番	7/9	整理番号	
京田辺市上下水道部			

$$S=1/20$$

S=1:20



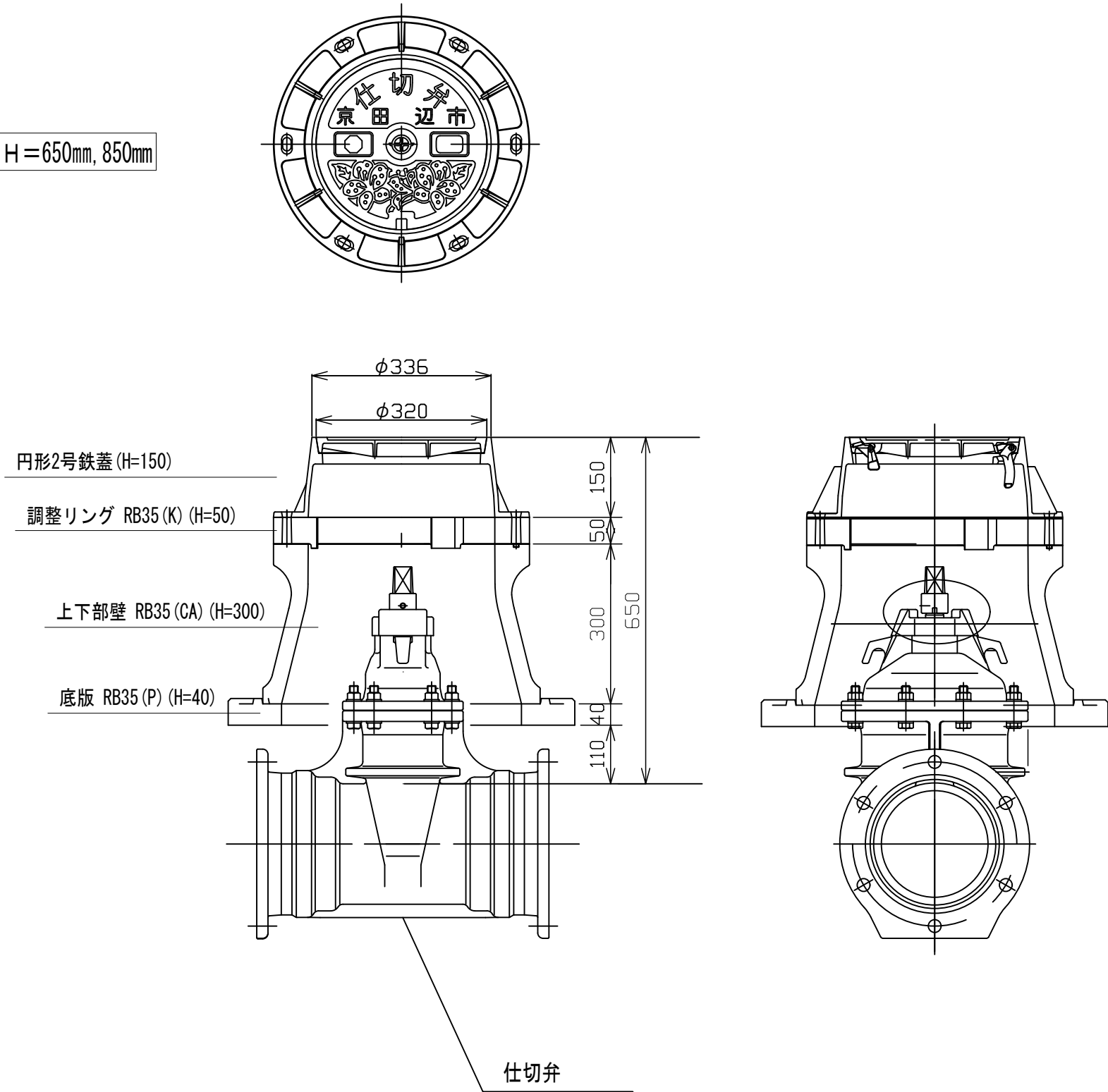
掘削深	1.50<H≤1.80	1.80<H≤2.00	2.00<H≤2.30	2.30<H≤2.80	2.80<H≤3.30
矢板種別	アルミ矢板(W=333mm)				
矢板長(m)	2.00	2.50	3.00	3.50	
アルミ製腹起し	110mm×130mm×4m				
水圧式サポート	0.45m以上～2.10m以下				
切梁段数	1 段			2 段	

掘削深	3.30<H≤3.50	3.50<H≤3.80
矢板種別	軽量鋼矢板 (W=250mm)	
矢板長 (m)	4.00	4.00
アルミ製腹起し	110mm×130mm×4m	
水圧式サポート	0.45m以上～2.10m以下	
切梁段数	2 段	3 段

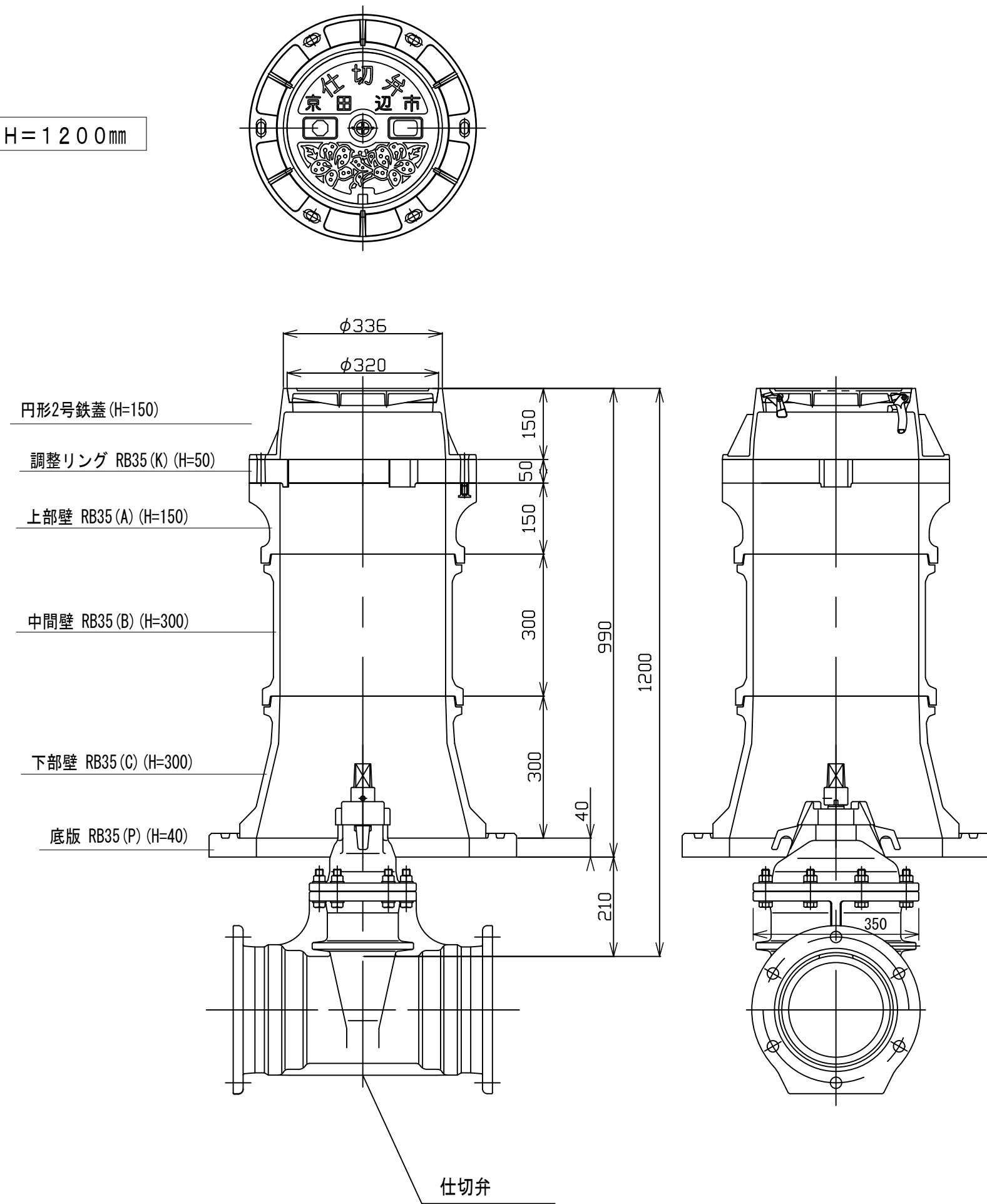
工事名	令和 8 年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う 配水管支障移設工事		
工事箇所	京田辺市 興戸 地内		
図面種別	本設土工標準図(2)	設計	
縮尺	1/20	製図	
図番	8／9	整理番号	
 京田辺市上下水道部			

京田辺市仕様仕切弁室標準図

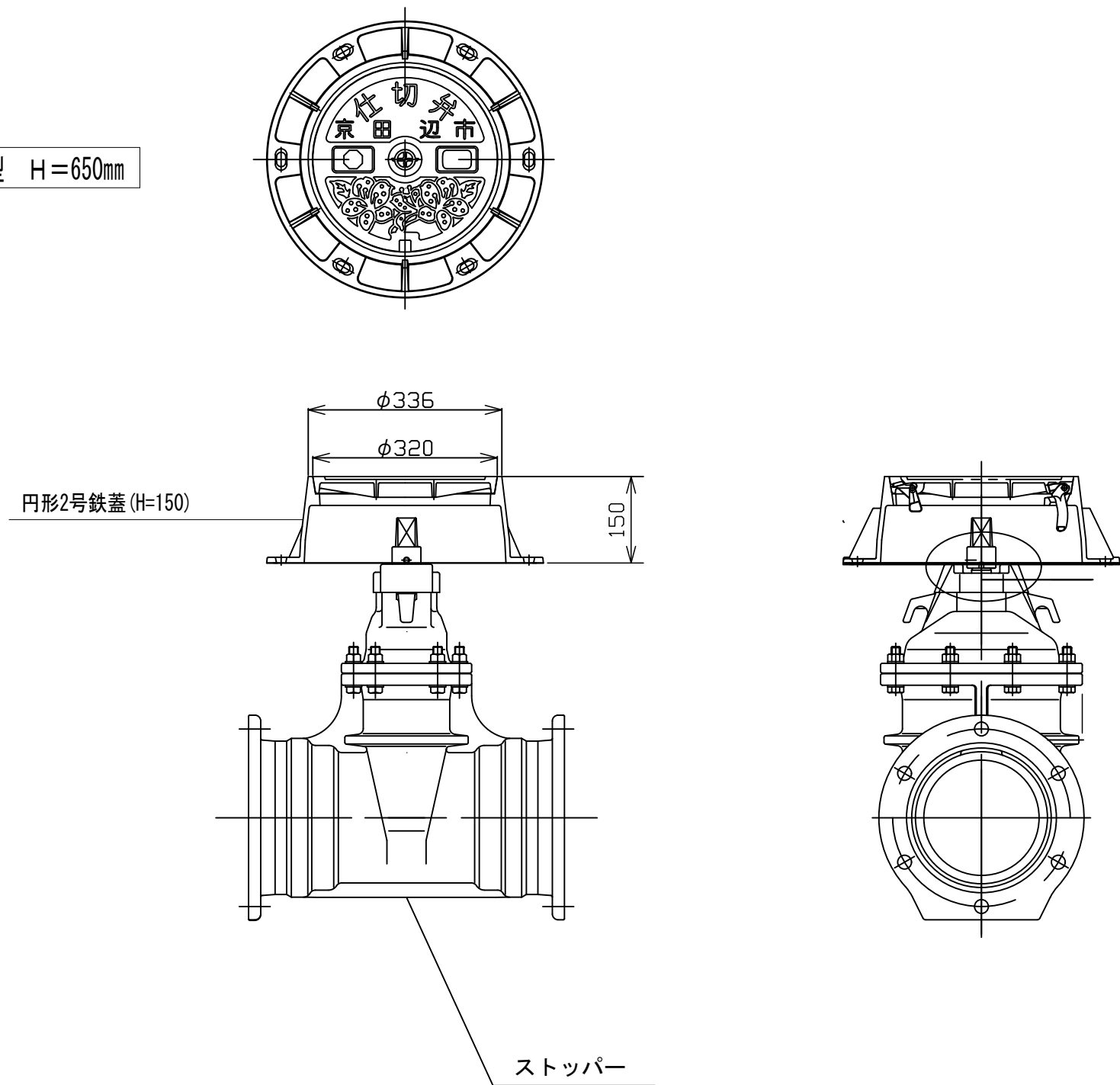
仕切弁用 35型 H=650mm, 850mm



仕切弁用 35型 H=1200mm



ストッパー用 35型 H=650mm



※ 調整リングは、1枚 (H=50) を標準とし、地形により最大3枚まで使用可とする。
ただし、3枚使用する場合はレジンコンクリート製のものを使用し、
再生プラスチック製の調整リングが2枚以下になるように組み合わせること。
※ 仕切弁ネジ部より下でスラブ底面を設置する事。

工事名	令和8年度 興戸地区内排水路整備工事に伴う 配水管支障移設工事		
工事箇所	京田辺市 興戸 地内		
図面種別	弁室標準図	設計	
縮尺	1/10	製図	
図番	9/9	整理番号	
京田辺市上下水道部			